（別紙３）第２世代交付金（令和６年度補正予算分及び令和７年度当初予算分）（旧制度活用）実施計画【2021年度開始事業】

2025.1.17

【実施計画作成に当たっての留意事項】
①左側には最後に交付決定を受けた直近の実施計画の記載内容、右側には**変更した部分を赤文字にしたうえで**今回申請する内容を記載してください。
②右側と左側で内容の変更が無い場合には、**単独・広域の選択、各年度の経費内訳のソフト事業経費、ハード事業経費（加えて広域連携事業の場合は、連携地方公共団体の欄）以外については左側の記載を省略することが可能です。**なお、右側は必ず記載してください。（右側だけで事業計画として成立するようにしてください。）

2. 交付対象事業の名称等

単独広域	交付対象事業の名称								
広域連携									
事業類型		後継事業		事業分野（大項目）		事業分野（詳細）		事業分野	×
事業実施期間	交付決定日	から	年	月	日	まで			

3. 地域再生計画の名称等

地域再生計画の名称	認定（初回）
地域再生計画の区域	
計画期間	地域再生計画の認定の日　から　年　月　日　まで

＜ 連携地方公共団体 ＞

No.	都道府県名	市区町村等名	地方公共団体コード	2025年度交付金対象事業経費	2025年度交付金申請額
1	徳島県	徳島市	36201	12,160千円	6,080千円
2	徳島県	鳴門市	36202	1,350千円	675千円
3	徳島県	小松島市	36203	1,350千円	675千円
4	徳島県	吉野川市	36205	1,350千円	675千円
5	徳島県	阿波市	36206	1,350千円	675千円
6	徳島県	勝浦町	36301	900千円	450千円
7	徳島県	上勝町	36302	900千円	450千円
8	徳島県	佐那河内村	36321	900千円	450千円
9	徳島県	石井町	36341	900千円	450千円
10	徳島県	神山町	36342	900千円	450千円
11	徳島県	松茂町	36401	900千円	450千円
12	徳島県	北島町	36402	900千円	450千円
13	徳島県	藍住町	36403	900千円	450千円
14	徳島県	板野町	36404	900千円	450千円
15	徳島県	上板町	36405	900千円	450千円
計				26,560千円	13,280千円

1. 申請者情報

都道府県名	徳島県	市区町村等名	徳島市	地方公共団体コード	36201

継続・変更	継続
事業開始年度	2021年度

担当部局名	企画政策部　企画政策課			責任者名	小原　和浩	責任者役職	課長
担当者名	来島　晋太郎	電話番号	088-621-5085	メールアドレス	kikaku_seisaku@city.tokushima.lg.jp		

2. 交付対象事業の名称等

単独広域	交付対象事業の名称								
広域連携	イーストとくしまDMOニューツーリズム推進による新たな事業創出による地域活性化の実現								
事業類型	横展開型	後継事業	○	事業分野（大項目）	観光振興（しごと創生）	事業分野（詳細）	観光振興（DMO）等の観光分野	事業分野	○
事業実施期間	交付決定日　から　2026　年　3　月　31　日　まで								

3. 地域再生計画の名称等

地域再生計画の名称	認定（初回）
イーストとくしまDMOニューツーリズム推進による新たな事業創出による地域活性化の実現	第59回
地域再生計画の区域	徳島県徳島市、鳴門市、小松島市、吉野川市及び阿波市並びに勝浦郡勝浦町及び上勝町、名東郡佐那河内村、名西郡石井町及び神山町並びに板野郡松茂町、北島町、藍住町、板野町及び上板町の全域
計画期間	地域再生計画の認定の日　から　2026　年　3　月　31　日　まで

＜ 入力チェック ＞

有識者対象（先駆）	有識者対象（Society5.0）	広域連携団体数	事業費	増額上限	地域再生計画	広域連携の上限額	注意
－	－	○	○	－	○	○	・地域再生計画の変更認定申請又は軽微な変更の報告が必要となります。

＜ 変更状況確認欄 ＞　※変更（軽微以外）の申請及び軽微変更報告の際に記載

最終交付決定日	2024.4.1	軽微変更報告日	

連携地方公共団体数	15

＜ 連携地方公共団体 ＞

No.	都道府県名	市区町村等名	地方公共団体コード	2025年度交付金対象事業経費	2025年度交付金申請額	今回交付申請額	増額上限確認欄
1	徳島県	徳島市	36201	12,160千円	6,080千円	6,080千円	－
2	徳島県	鳴門市	36202	1,350千円	675千円	675千円	－
3	徳島県	小松島市	36203	1,350千円	675千円	675千円	－
4	徳島県	吉野川市	36205	1,350千円	675千円	675千円	－
5	徳島県	阿波市	36206	1,350千円	675千円	675千円	－
6	徳島県	勝浦町	36301	900千円	450千円	450千円	－
7	徳島県	上勝町	36302	900千円	450千円	450千円	－
8	徳島県	佐那河内村	36321	900千円	450千円	450千円	－
9	徳島県	石井町	36341	900千円	450千円	450千円	－
10	徳島県	神山町	36342	900千円	450千円	450千円	－
11	徳島県	松茂町	36401	900千円	450千円	450千円	－
12	徳島県	北島町	36402	900千円	450千円	450千円	－
13	徳島県	藍住町	36403	900千円	450千円	450千円	－
14	徳島県	板野町	36404	900千円	450千円	450千円	－
15	徳島県	上板町	36405	900千円	450千円	450千円	－
計				26,560千円	13,280千円	13,280千円	－

４．交付対象事業の背景・概要

A. 地方創生として目指す将来像（交付対象事業の背景）
B. 地方創生の実現における構造的な課題
C. 交付対象事業の概要 （デジタル技術の事業への活用又はその普及等を推進する取組を事業に含める場合には、当該取組についても必ず記載）

４．交付対象事業の背景・概要

A. 地方創生として目指す将来像（交付対象事業の背景）

本計画は、急速な人口減少・少子高齢化による地域経済の沈滞が進行する徳島県東部圏域において、圏域外からの「外貨」の獲得と地域住民の活躍の場を創出できる“観光”を徳島県東部圏域での経済施策として捉え、観光コンテンツを魅力あるビジネスに成長させ、旅行者等による交流人口の拡大を図ることで、「訪れてよし」「住んでよし」の観光地域づくりを推進し、圏域経済を好循環させ、持続可能な地域にしようとするものである。
「訪れてよし」の観光地域づくりのために、「価値に見合った対価を支払う旅行者」をコアターゲットに、収益力が弱い従来型の観光コンテンツから脱却し、その顧客ニーズに基づくテーマ性の強い体験型「ニューツーリズム」といった高付加価値コンテンツを創出する。
また、地域住民が地域の魅力を再発見・再確認する取組を通じてシビックプライドを醸成することで、まちの魅力を自分の言葉で語れる地域 =「住んでよし」の地域づくりを推進し、旅行者の「訪れてよし」と地域住民の「住んでよし」の触れ合いを通じて、関係人口・定住人口の増加を図る。
これらの推進について、15市町村から成る徳島東部圏域が、官民が一体となり戦略的に取り組む仕組みを構築することで、自立的で継続可能な観光地域づくりを目指す。

B. 地方創生の実現における構造的な課題

徳島県東部圏域の観光については、「阿波おどり」と「鳴門の渦潮」というキラーコンテンツが存在し、長年これらに依存してきたが、「阿波おどり」では、年4日の開催期間中はオーバーツーリズムとなる一方で年間を通じた誘客への寄与は少ないこと、「鳴門の渦潮」では、滞在時間の短い「見るだけ」の観光地になっている等、宿泊者数や観光消費額の増加等の経済効果は限定的となっている。
また、個人旅行の増加により、それぞれが興味のある、行きたいところをじっくりと巡る旅行が選好される傾向が高まるなど、多様化する旅行ニーズへの対応が求められていることに加え、新型コロナウイルス感染症の大きな影響を受ける中、選好される「観光コンテンツ」を造成・PRすることが重要であるが、本圏域では、前述のキラーコンテンツに依存してきた結果、訴求力のある新たなコンテンツの開発が不十分となっている。
この背景には、観光によって「外貨」を稼ぐという視点（経済政策としての観光）が乏しかったことがあるものと考えられ、コンテンツの造成に当たっては、地域により多くの所得をもたらす「通年型・滞在型」を目指すこと、また裾野が広い観光関連産業の各段階を育成することにより、新たなコンテンツの造成等によって観光消費額等を向上させ、地域所得の向上を目指す観光地域づくりに取り組むこと等が今後の課題となっている。
もう一つの課題として、シビックプライドの醸成が挙げられる。旅行者が行き先を選ぶに当たっては、そのニーズに各地のコンテンツが合っていることに加えて、「魅力的な地域のイメージ」も重要な要素である。民間会社が毎年実施する、地域の魅力度ランキングでは、徳島県は下位の常連になっているとともに、市民が自虐的に「徳島は何もない」と語るほど地域の愛着度（同調査）も同様に低い。地域住民の地域への愛着度が低いと、地域の価値が発信されず、域外には魅力が理解されなくなると、地域の魅力がますます低迷するといった悪循環を生みだす。このように地域に対する域外からの魅力度と住民の愛着度は関連しているため、地元を愛し、地域の価値を理解する市民を増やしていくことにより、地域の魅力、ひいては観光地としての魅力の底上げが図られると考えられ、このことが新たな課題となっている。

C. 交付対象事業の概要
（デジタル技術の事業への活用又はその普及等を推進する取組を事業に含める場合には、当該取組についても必ず記載）

一般社団法人イーストとくしま観光推進機構（以下、「イーストとくしま」）が、徳島東部圏域の15市町村が広域で取り組む官民連携の組織体として、中心となって以下の取組を推進する。
1．ニューツーリズム推進事業
徳島県東部圏域の経済施策として、目指すべき観光地域づくりのコンセプト・戦略の明確化とその着実な実施に取り組む。
具体的には、徳島の地域文化をリスペクトし、価値に見合った対価を支払う旅行者をコアターゲットとし、収益力が弱い従来型の観光コンテンツとは一線を画した、高付加価値の地域性・テーマ性の強い体験型のコンテンツ造成等を行う。本圏域が有するお遍路文化、塩業・藍産業を中心に海運・水運で栄えた歴史や「関西の台所」と評されるほどの豊富な農水産物など、歴史や地理・自然に裏打ちされた地域固有の、この地域でないと体験ができない、これらの資源を観光資源として磨き上げ「ニューツーリズム推進事業」としてコンテンツ造成等を推進していく。
そして、これらを着実に実施するための取組として、コアターゲットの嗜好性やライフスタイル、接触媒体などの様々なデータを収集し、ペルソナ化などの様に分析・可視化する。造成したコンテンツ等の情報発信については、情報接触率が高く効果的なものとするため、関係機関等と連携・連動し国内・海外向けのウェブメディアを中心としたプロモーションを実施するほか、商談会への参加等により旅行代理店等を通じたプロモーションを強化する。
2．シビックプライド醸成・創業人材育成事業
「ニューツーリズム推進事業」を進めるうえで、それを支える新規事業推進・創業人材の育成に取り組む。観光関連産業での創業や新たなビジネスを創出するよう取組を推進するほか、新たなコンテンツにおけるインバウンドガイドなどの有償ガイド養成などにも取り組む。

例えば、ニューツーリズム推進事業においては、事業者協働により新たに造成したコンテンツについて、全国の優れた事例等を識者による講演・セミナーにより知見を広げ、モニターツアー等を行うことなどにより、地域の事業者、潜在的創業者等の体験による「気付き」を誘発し、新たなビジネスが創出することを図るなど波及効果が生まれることを目指す。また、シビックプライド醸成の主な取組として、地域住民向けのマイクロツーリズム等によって、住民自らが観光コンテンツを体験し、「とくしまの魅力を再発見」してもらうと同時に、住民と訪問者との交流を促すコンテンツの造成や、住民を対象とした地域の魅力の啓発活動等により、住民の地域への誇りと愛着の醸成を図る。

また、新たな取組みとして、県都で域内最大の人口を抱える「徳島市中心市街地エリア」及び関西からの四国のゲートウエイである「鳴門エリア」の2つのエリアを令和5年度に、圏域の誘客促進の重点エリアに設定し、行政、宿泊・飲食などの観光関連事業者、地元金融機関を巻き込んで、観光地経営のマスタープランであり、まちづくりの指針の一つとなる「地域計画」を策定するとともに、地域経済に裨益する宿泊施設を核とした観光地の面的な再生・高付加価値化に向けて、受入環境の整備を進めた。 令和6年度は、持続可能な観光地域まちづくりを推進するため、イーストとくしまが事務局となる「(仮称)観光地域まちづくりWG」を立ち上げ、「地域計画」の着実な実現を進めていくとともに、地域事業者や住民への更なる普及促進を行い、ステークホルダーマネジメントを強化していく。

さらに、新型コロナウイルス感染症の流行を経て人々の生活・行動様式の変化や旅行者のニーズの多様化を踏まえて、地域が持続的に発展していくために、新たに次の2つの取組みを進める。

3. 面的DX化推進事業

広域連携DMOである四国ツーリズム創造機構が開発し、2021年9月から運営している観光アプリ「しこくるり」を基盤にして、令和5年度にイーストとくしまがシステムを改修し、徳島東部エリアに特化したサイトの構築、GPS機能の搭載、旅行者データ保持などの機能強化を行ったことで、地域や事業者のニーズを踏まえつつ、徳島東部が一体となったシームレスによる宿泊、交通、体験等に係る予約・決済を行える体制の整備、来訪者へのプッシュ型による情報発信やクーポン等のインセンティブの提供、同サイトから得られる旅行者の行動や心理に関する各種情報を可視化・分析し、地域にとって有益な情報を共有し、デジタルマーケティング活動に活かしていく体制を整備した。

令和6年度からは、デジタル田園都市国家構想交付金を活用して、改良した観光アプリを本格稼働し、位置情報に基づく観光客へのタイムリーな情報発信、キャッシュレスやMassによるストレスフリーな手ぶら観光の実現、観光アプリを介して蓄積した情報を分析・視覚化された旅行者のデータを活用した地域一体による戦略的・効果的なデジタルマーケティングを推進していくとともに、アプリ利用の更なる普及拡大に向けた魅力的なデジタルチケットサービスの強化事業や地域の参画事業者を拡大していく取組み、並びに地域で将来の観光を担う観光デジタル人材の育成を推進していく。

4. 大阪・関西万博関連事業

2025年4月から9月に開催される大阪・関西万博では、2,820万人の来場者や2兆円を超える経済効果が見込まれるが、その効果をいかにして大阪・関西以外の地域に波及させていくかが課題の一つといわれている。徳島東部圏域は、高速バスやフェリーなど関西を結ぶ多様な交通手段があり、他の地域と比べて地理的な利便性を有し、万博会場で徳島に興味を持った人々に徳島を来訪してもらい、さらに徳島東部をハブとして徳島西部・南部、香川、高知を周遊するといった県を跨いだ広域的な周遊・長期滞在に繋げられるようなエリアマーケティングを展開していく。

具体的には、関西観光本部、大阪観光局、関西エアポート、南海電鉄、兵庫・和歌山県のDMO等との連携を強化して、人々を引き付けるストーリー性と魅力を兼ね備えた広域周遊ルートの設定や周遊ルートに点在する文化・体験型の観光コンテンツを組み込んだツアー造成等を行うとともに、関西方面での集中的なプロモーションを展開し、徳島東部の認知度向上を図り、誘客に繋げていく。

(C-1)マイナンバーカードの利活用方策の具体的内容 ※該当がある場合

(C-1)マイナンバーカードの利活用方策の具体的内容 ※該当がある場合

D. 交付対象事業が構造的な課題の解決に寄与する理由
(デジタル技術の事業への活用又はその普及等を推進する取組を事業に含める場合には、当該取組が構造的な課題の解決に寄与する理由についても必ず記載)

D. 交付対象事業が構造的な課題の解決に寄与する理由
(デジタル技術の事業への活用又はその普及等を推進する取組を事業に含める場合には、当該取組が構造的な課題の解決に寄与する理由についても必ず記載)

「ニューツーリズム推進事業」

滞在型観光・観光の通年化に向けた、新たなコンテンツ造成等を行う。前身事業でのマーケティング調査の結果、新しいコンテンツや体験、自然・食文化等のコンテンツへのニーズが高いことが明らかになった。このため、遍路道を生かしたトレイル整備事業や水資源・食などの地域資源等を生かした地域性・テーマ性の強い様々な体験型のコンテンツを造成することで、「滞在型」で、また「通年での」観光地域づくりに寄与する。マーケットイン思考を徹底し、データに基づく科学的なアプローチを取り入れ、明確なコンセプトに基づいた戦略を策定した上で、観光資源の磨き上げ、効果的な情報発信・プロモーションに取り組むことで、旅行者のニーズに合った選好されるコンテンツ造成等を目指すものであり、イーストとくしまが関係者との連携を図りながら、エリアー丸となって取り組むことで、広域が連携した持続的な観光地域づくりを行う。

また、農林水産業、商工業、文化・環境等の幅広い分野との横軸連携による観光コンテンツ造成等の推進に取り組み、「創業人材育成事業」では、観光関連産業での事業化・創業を促進することで、稼ぐ観光地域づくりを推進するとともに、地域住民の活躍を促す。

「シビックプライド醸成」

住民の地域への愛着度を向上させることで魅力が磨かれていくものと考えられ、地域住民が旅行客の目線で地元を周遊する機会となるマイクロツーリズムの実施等によって、地域住民が地元を知り、自地域の価値を再発見するよう啓発することで、地元への愛着醸成に寄与する。また、行政や民間事業者の潤滑油的な役割を担うDMOが観光地域まちづくりに関する施策の立案や取りまとめに積極的に関与することで、これまでにない官民連携の展開や地域全体で観光客誘致に取組む環境づくりに繋げることができ、住民の誇りと愛着の醸成を図るシビックプライドの醸成に寄与する。

「面的DX推進事業」

観光DXの推進は、地域が一体となり、行政と民間の垣根を超えて、面的に取り組んでいく必要がある。しかしながら、行政、民間事業者のどちらかが先導的立場で進めていくには高い壁があるため、地域連携DMOであるイーストとくしまがその役割を担い、観光アプリから得られた旅行者の様々な情報を一元管理し、デジタルマーケティングを進めていくうえで有益な情報を地域に提供することで、行政の効果的な観光施策の立案や民間事業者の戦略的なデジタルマーケティングを面的に進めることができる。効果的・戦略的な施策展開やマーケティングにより、旅行者の利便性の向上、観光消費の拡大、再来訪の促進、観光産業の収益・生産性の向上が図られ、滞在型観光や一年を通して観光客で賑わう通年型観光への転換に寄与する。

「大阪・関西万博関連事業」

イーストとくしまと関西の関係機関との連携による広域的な周遊ルートの構築と磨き上げ等を実施することで、徳島東部だけでなく、県全体さらには四国における万博に向けた機運の醸成を図りつつ、徳島東部の認知度の向上や誘客機会の拡大を図り、万博をフックにした徳島東部への来訪者の増に繋げる。さらに万博による経済効果を受入側である地域事業者が実感することで、万博後に予定されているワールドマスターズゲームズ2027やIR開業などの好機を活かした徳島東部への更なる誘客に繋げられ、持続性の高い観光地を創出していくことができる。

E. 事業設計の根拠
(地域経済分析システム(RESAS)の活用などによる客観的なデータやこれまでの類似事業の実績評価に基づき交付対象事業の設計がなされているか)

E. 事業設計の根拠
(地域経済分析システム(RESAS)の活用などによる客観的なデータやこれまでの類似事業の実績評価に基づき交付対象事業の設計がなされているか)

・宿泊旅行統計調査(観光庁)によると、徳島県の延べ宿泊者数は、平成27年以降の7年間で全国最下位が6回ほどあり、最下位が定位置となりつつある。
・RESASの目的地分析(2022年 自動車)によると、多くの人が関心を持つ施設が、徳島県東部は鳴門市以外は不足がちなため、徳島東部圏域における新たな観光地の創出や既存観光地の磨き上げ・PR、周辺の観光地の来訪者を徳島東部圏域に呼び込む方策等、徳島東部圏域全体の回遊性を高めるための取組が必要である。
・前身事業でのマーケティング調査の結果から、訪問者のニーズとして、「自然景観を見ること」、「美味しいものを食べること」、「文化的な名所を見ること」が上位となっている。また、「観光コンテンツが少ない」と感じていること、より新しいコンテンツへの反応が高いこと、また、アウトドアコンテンツへの需要の高まりなどの結果が得られた。このことから、「ニューツーリズム推進事業」として、旅行者に選好される、ターゲットを明確にしたコンテンツ造成等を行う。

F. ハード事業(施設整備等事業)とソフト事業との連携による高い相乗効果 ※ハード事業経費が総事業費の5割以上の場合のみ記載

F. ハード事業(施設整備等事業)とソフト事業との連携による高い相乗効果 ※ハード事業経費が総事業費の5割以上の場合のみ記載

5. 地方版総合戦略の策定状況

地方公共団体名	地方版総合戦略の計画期間・基本目標	
	現行の地方版総合戦略	次期地方版総合戦略 （本事業の開始前又は本事業期間中に現行の地方版総合戦略の計画期間限を迎える場合）
徳島県徳島市	年 月 日～ 年 月 日	年 月 日～ 年 月 日
		【基本目標3】「徳島市の強みを生かした、にぎわいと活気のあるまち」の実現（予定）
徳島県鳴門市	年 月 日～ 年 月 日	2025 年 4 月 1 日～ 2030 年 3 月 31 日
		【基本目標3】「まちがにぎわう：若い世代が住みたいと思うまち」（予定）
徳島県小松島市	2020 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日	2025 年 4 月 1 日～ 2030 年 3 月 31 日
	【政策分類③】新しい人の流れをつくる 【基本目標】年間観光客入込数81万人（令和6年）←81万8千人（平成30年）	【政策分類③】新しい人の流れをつくる（予定）
徳島県吉野川市	年 月 日～ 年 月 日	2025 年 4 月 1 日～ 2030 年 3 月 31 日
徳島県阿波市	年 月 日～ 年 月 日	年 月 日～ 年 月 日
		【基本目標1】新しい人の流れづくり（予定）
徳島県勝浦町	年 月 日～ 年 月 日	年 月 日～ 年 月 日
徳島県上勝町	年 月 日～ 年 月 日	年 月 日～ 年 月 日
		町へ新しいひとの流れをつくる（予定）
徳島県佐那河内村	年 月 日～ 年 月 日	年 月 日～ 年 月 日
徳島県石井町	2020 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日	2025 年 4 月 1 日～ 2030 年 3 月 31 日
	【基本目標3】産業の振興と雇用の場の創出：観光・交流資源の活用・創出：観光入込客数60,000人（令和6年）←58,000人（平成30年）	【基本目標3】産業の振興と雇用の場の創出（予定）
徳島県神山町	年 月 日～ 年 月 日	年 月 日～ 年 月 日
徳島県松茂町	2020 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日	2025 年 4 月 1 日～ 2030 年 3 月 31 日
		【基本目標2】松茂町への新しいひとの流れをつくる（予定）
徳島県北島町	年 月 日～ 年 月 日	年 月 日～ 年 月
		【基本目標②】北島町への新しい人の流れをつくる（予定）
徳島県藍住町	2020 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日	2025 年 4 月 1 日～ 2030 年 3 月 31 日
	【基本目標2】藍住町への新しい人の流れづくり 「阿波藍の里」ブランドの確立：藍の館年間入込客数（人）31,264（H30）→35,000（R6）	【基本目標2】藍住町への新しい人の流れづくり 「阿波藍の里」ブランドの確立（予定）
徳島県板野町	年 月 日～ 年 月 日	年 月 日～ 年 月 日
		【基本目標1】新しい人の流れづくり（予定）
徳島県上板町	2020 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日	2025 年 4 月 1 日～ 2030 年 3 月 31 日
		【基本目標2】上板町へさまざまな人を呼び込み、町を元気にする（予定）

5. 地方版総合戦略の策定状況

地方公共団体名	地方版総合戦略の計画期間・基本目標	
	現行の地方版総合戦略	次期地方版総合戦略 （本事業の開始前又は本事業期間中に現行の地方版総合戦略の計画期間限を迎える場合）
徳島県徳島市	2020 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日	2025 年 4 月 1 日～ 2030 年 3 月 31 日
	【基本目標3】「徳島市の強みを生かした、にぎわいと活気のあるまち」の実現：宿泊者数 400万人以上（令和2年～6年累計）	【基本目標2】持続可能な徳島経済の創出 まちなか歩行者通行量（平日休日の平均）：21,000人（令和11年度） 市内延べ宿泊者数：780,000人（令和11年度）
徳島県鳴門市	2020 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日	2025 年 4 月 1 日～ 2031 年 3 月 31 日
	【基本目標3】「まちがにぎわう：若い世代が住みたいと思うまち」：5年後の社会増減人口を△128人まで抑制	【基本目標3】「まちがにぎわう：若い世代が住みたいと思うまち」：5年後の社会増減人口を△128人まで抑制
徳島県小松島市	2020 年 4 月 1 日～ 2027 年 3 月 31 日	年 月 日～ 年 月 日
	【政策分類③】新しい人の流れをつくる 【基本目標】年間観光客入込数90万人（令和8年）←81万8千人（平成30年）	
徳島県吉野川市	2020 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日	2025 年 4 月 1 日～ 2029 年 3 月 31 日
	【基本目標2】ひとの定住・環流・移住の新しい流れをつくる 地域資源を生かした観光の推進：市内宿泊者数23,488人（平成30年）→18,800人（平成6年） 魅力あるにぎわいの創出：主要イベント参加人数 145,241人（平成30年度）→3万人以上（令和6年度）	【基本目標2】ひとの定住・環流・移住の新しい流れをつくる（予定）
徳島県阿波市	2020 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日	2025 年 4 月 1 日～ 2030 年 3 月 31 日
	【基本目標1】新しい人の流れづくり 広域観光PR及びルート形成：観光入込客数R6:85万人／年〈H30：84.7万人〉	【基本目標1】新しい人の流れづくり（予定） 観光入込客数R11:85万人／年
徳島県勝浦町	2021 年 4 月 1 日～ 2026 年 3 月 31 日	年 月 日～ 年 月 日
	【基本目標3】個性と魅力あふれるまちづくり：主要観光施設の利用者数22,439人／年→5年間で125,000人	
徳島県上勝町	2020 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日	2025 年 4 月 1 日～ 2030 年 3 月 31 日
	町へ新しいひとの流れをつくる 【2024年3月成果目標】■観光入込客数（2024年度110，000人）■宿泊客数（2024年度10，000人）■外国人宿泊客数（2024年度350人）■ヘルスツープログラムによる観光客数（2024年度300人）■修学旅行生等の受入人数（2024年度800人）	町へ新しいひとの流れをつくる 【2029年3月成果目標】■観光入込客数（2029年度100，000人）■宿泊客数（2029年度10，000人）■外国人宿泊客数（2029年度400人）■ヘルスツーリズムプログラムによる観光客数（2029年度250人）■修学旅行生等の受入人数（2029年度800人）
徳島県佐那河内村	2020 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日	2025 年 4 月 1 日～ 2030 年 3 月 31 日
	【基本施策】新しいひとの流れをつくる 2-2転入人口を増やす（数値目標）子育て世帯の移住者数 5組／年 2-3交流人口を増やす（数値目標）ふるさと住民票発行数 5年間で	【基本施策】新しいひとの流れをつくる（予定）
徳島県石井町	2020 年 4 月 1 日～ 2026 年 3 月 31 日	年 月 日～ 年 月 日
	【基本目標3】産業の振興と雇用の場の創出：観光・交流資源の活用・創出：観光入込客数60,000人（令和7年）←58,000人（平成30年）	
徳島県神山町	2021 年 4 月 1 日～ 2026 年 3 月 31 日	年 月 日～ 年 月 日
	社会動態人口 +11人／年	
徳島県松茂町	2020 年 4 月 1 日～ 2026 年 3 月 31 日	年 月 日～ 年 月 日
	【基本目標2】松茂町への新しいひとの流れをつくる：社会増減 年間で30人	
徳島県北島町	2020 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日	2025 年 4 月 1 日～ 2030 年 3 月 31 日
	【基本目標②】北島町への新しい人の流れをつくる：社会増250人（年平均50人増）	【地域ビジョン5】前向きでいられる地域社会をつくる（予定）
徳島県藍住町	2020 年 4 月 1 日～ 2026 年 3 月 31 日	年 月 日～ 年 月 日
	【基本目標2】藍住町への新しい人の流れづくり 「阿波藍の里」ブランドの確立：藍の館年間入込客数（人）31,264（H30）→35,000（R7）	
徳島県板野町	2020 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日	2025 年 4 月 1 日～ 2030 年 3 月 31 日
	【基本目標1】新しい人の流れづくり 【数値目標】2025年までに、社会増2020年比50%増、2030年以降転入超過	【基本目標2】新しい人の流れづくり（予定） 【数値目標】転入者数：1,984人（R5）→2,050人（R11）
徳島県上板町	2020 年 4 月 1 日～ 2027 年 3 月 31 日	年 月 日～ 年 月 日
	【基本目標2】上板町へさまざまな人を呼び込み、町を元気にする：観光誘客による交流人口の増加：観光交流客数（観光入込客数）（人／年） 73,000人（R6）	

6. 関連事業等の概要

(1)交付対象事業と他の国庫補助金等との関連性

交付対象事業において、他の国庫補助金等の対象となる部分や特別交付税等の他の財政上の支援を受けている経費があるか 〔対象となる可能性のある他の国庫補助金等の例〕 「農産漁村振興交付金」、「中山間地域農業農村総合整備事業」、「ポストコロナを見据えた受入環境整備促進事業」、「広域周遊観光促進のための観光地域支援事業」、「福島県における観光関連復興支援事業」、「離島活性化交付金」、「社会資本整備総合交付金」、「地域少子化対策重点推進交付金」等	
他の国庫補助金等の対象となる部分や特別交付税等の他の財政上の支援を受けている経費がある場合、交付対象事業の対象から除外しているか ※他の国庫補助金等の対象となる部分がある場合のみ記載	

(2)地域再生法の支援措置によらない独自の取組

(3)交付対象事業と他の政策・施策との連携状況

別添2のⅢ. 7. における弾力措置適用の有無									
企業版ふるさと納税	併用有無								
	インセンティブ活用有無	横展開型の事業期間を最長5年間に延長する場合は「有」を選択							
	延長申請を行う(行った)募集回								
	申請年度		新規・継続		募集回				
	交付決定を受けた直近の実施計画における最終年度の事業費		特例部分(4年目)上限額		特例部分(5年目)上限額		特例部分上限確認欄		
	寄附を行う法人の具体的な見込みの程度(インセンティブを活用する場合のみ記載)								
	企業版ふるさと納税の地域再生計画の名称								
	企業版ふるさと納税と併用する場合の寄附見込額	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	合計		
							0千円		

7. 交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)、費用対効果分析等

KPI① (アウトカムベースで、複数		単位	
KPI②		単位	
KPI③		単位	
KPI④		単位	
設定したKPIが複数年にわたって費用対効果を計測するのに適している理由・計測手法・目標値の根拠			

	事業開始前(現時点)	2021年度増加分(1年目)	2022年度増加分(2年目)	2023年度増加分(3年目)	2024年度増加分(4年目)	2025年度増加分(5年目)	2026年度増加分(6年目)	KPI増加分の累計
KPI①【①】	109.2 (2020年統計)	35.00	62.00	3.00	5.00	15.80		120.80
KPI①【①】実績 ※見込みは下線		1.00	24.50	3.00	5.00	15.80		49.30
KPI②	24 (2020年統計)	4.00	10.00	3.00	2.00	7.00		26.00
KPI②実績 ※見込みは下線		−2.00	12.00	3.00	2.00	7.00		22.00
KPI③	37.7 (2020年統計)	0.50	1.00	1.00	1.00	1.00		4.50
KPI③実績 ※見込みは下線		3.30	−2.30	1.00	1.00	1.00		4.00
KPI④		1.00	1.00	1.00	1.00	1.00		5.00
KPI④実績 ※見込みは下線		0.00	−1.20	1.00	1.00	1.00		1.80

6. 関連事業等の概要

(1)交付対象事業と他の国庫補助金等との関連性

交付対象事業において、他の国庫補助金等の対象となる部分や特別交付税等の他の財政上の支援を受けている経費があるか 〔対象となる可能性のある他の国庫補助金等の例〕 「農産漁村振興交付金」、「中山間地域農業農村総合整備事業」、「ポストコロナを見据えた受入環境整備促進事業」、「広域周遊観光促進のための観光地域支援事業」、「福島県における観光関連復興支援事業」、「離島活性化交付金」、「社会資本整備総合交付金」、「地域少子化対策重点推進交付金」等	無
他の国庫補助金等の対象となる部分や特別交付税等の他の財政上の支援を受けている経費がある場合、交付対象事業の対象から除外しているか ※他の国庫補助金等の対象となる部分がある場合のみ記載	

(2)地域再生法の支援措置によらない独自の取組

該当の有無	無

(3)交付対象事業と他の政策・施策との連携状況

別添2のⅢ. 7. における弾力措置適用の有無	無								
企業版ふるさと納税	併用有無	有							
	インセンティブ活用有無	横展開型の事業期間を最長5年間に延長する場合は「有」を選択	有						
	延長申請を行う(行った)募集回								
	申請年度	2024年度	新規・継続	継続	募集回	第1回募集			
	交付決定を受けた直近の実施計画における最終年度の事業費	29,620千円	特例部分(4年目)上限額	29,620千円	特例部分(5年目)上限額	29,620千円	特例部分上限確認欄	○	
	寄附を行う法人の具体的な見込みの程度(インセンティブを活用する場合のみ記載)	① 既に寄附を受領している							
	企業版ふるさと納税の地域再生計画の名称	徳島市まち・ひと・しごと創生推進計画							
	企業版ふるさと納税と併用する場合の寄附見込額	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	合計		
		0千円	0千円	0千円	2,000千円	0千円	2,000千円		

7. 交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)、費用対効果分析等

KPI① (アウトカムベースで、複数	徳島東部圏域の延べ宿泊者数	単位	万人
KPI②	徳島東部圏域ひとり当たり観光消費額	単位	千円
KPI③	徳島東部圏域の来訪者満足度	単位	%
KPI④	徳島東部圏域の住民満足度	単位	%
設定したKPIが複数年にわたって費用対効果を計測するのに適している理由・計測手法・目標値の根拠	DMOのKPIについては、観光庁より必須項目としてKPI①からKPI③が示されていることから、本事業のKPIとしても採用する。同じく必須項目である「リピーター率」については、本事業が「ニューツーリズム」の造成と推進による新規顧客の獲得に注力して実施することからKPIには採用せず、独自に設定するKPIとして、シビックプライド醸成事業に対応した「徳島東部圏域の観光に係る住民満足度」を設定する。新たに取組む「面的DX推進」、「大阪・関西万博関連事業」についてもKPI①～④の指標は、費用対効果を数値として検証するのに適している。 KPI①及びKPI②の指標により、地域経済への貢献度を測る。また、「住んでよし」「訪れてよし」の観光地域づくりの推進度合いについては、③及び④の指標にて判断する。		

	事業開始前(現時点)	2021年度増加分(1年目)	2022年度増加分(2年目)	2023年度増加分(3年目)	2024年度増加分(4年目)	2025年度増加分(5年目)	2026年度増加分(6年目)	KPI増加分の累計
KPI①【①】	109.2 (2020年統計)	35.00	62.00	3.00	5.00	15.80		120.80
KPI①【①】実績 ※見込みは下線		1.00	25.30	40.10	5.00	15.80		87.20
KPI②	24 (2020年統計)	4.00	10.00	3.00	2.00	7.00		26.00
KPI②実績 ※見込みは下線		−2.00	12.00	−2.00	2.00	7.00		17.00
KPI③	37.7 (2020年統計)	0.50	1.00	1.00	1.00	1.00		4.50
KPI③実績 ※見込みは下線		3.30	−2.30	0.70	1.00	1.00		3.70
KPI④		1.00	1.00	1.00	1.00	1.00		5.00
KPI④実績 ※見込みは下線		0.00	−1.20	2.70	1.00	1.00		3.50

第2世代交付金を活用した事業を継続的に進めるための自己点検シートを活用した見直しの検討	

KPIの実績等、事業進捗や効果検証を踏まえた事業の見直し内容及び考え方 **※増額又は企業版ふるさと納税のインセンティブによる事業期間延長を行う場合は、外部組織等の第三者評価を実施した上での見直し内容及び考え方を記載すること。**	2022年度は、10月からの入国制限の緩和のよるインバウンドの復活も期待され、コロナからの観光産業の回復に向けてのスタートとなる年度となった。徳島東部のKPI指標では、前年度から数値が改善されたものもあったが、観光需要の本格的回復、特にインバウンドは地方まで効果が及ばず、目標数値の達成に至らなかった。また、国や県の旅行支援制度も縮小傾向となり、安価に旅行できる機会が減少したことなどから、来訪者満足度が低下した。 住民満足度は、2021年度に初めて調査を行い、2022年度が2回目の調査となったが、住民も含めた地域全体での観光客誘致に取組む風土の醸成に至らなかったことなどから、目標数値の達成に至らなかった。 コロナによる行動制限の影響が想定より長引き、徳島東部においても観光需要の回復が遅れ、2021年度からの2か年のKPIでは、徳島東部圏域の延べ宿泊者数や一人あたり観光消費額は目標値に届かなかった。 2023年度に開催した、イーストとくしま設置の外部評価委員会及び徳島市設置の総合計画・総合戦略推進委員会の委員からは、次のような指摘・意見があった。 ・徳島には、山、海、川などの自然や遍路に代表される歴史と文化の遺産など、他の地域にない魅力的な地域固有の観光資源となる素材がある。それらの観光資源を地域で共有し、効果的に組み合わせて、外に広く発信していくことに継続して取組むことが重要である。 ・大阪・関西万博の開催や円安の影響により、インバウンドが増えることを意識して情報発信を強化していく必要がある。 これらの委員からの指摘・意見と次年度以降の収入とのバランスを踏まえて、2024年度からの事業内容の見直しにおいては、事業の選択と集中を徹底することとする。具体的には、「ニューツーリズム推進事業」では、ポストコロナにおける旅行ニーズに対応し、インバウンド市場の需要の取り込みを期待できる、遍路道や山・海・川といった自然を活用したアドベンチャートラベル（AT）とサステナブルツーリズム（ST）の造成・磨き上げに力点を置いた取組みを進め、「通年型・滞在型観光」への転換を促進する。また、地域が一体となって面的な観光DXを推進することで、多様化する旅行者ニーズを的確に捉え、客観的なデータに基づくデータドリブンによる観光地経営を実践していくとともに、マーケティングミックスを適宜見直しながら、観光コンテンツの磨き上げやプロモーションを進めていく。 さらに、2025年度の大阪・関西万博の開催を見据え、圏域への誘客を実現していくため、万博を見据えた取組みを集中的に実施することで、関西方面における徳島東部の認知度を一気に拡大させ、インバウンド需要を取り込むことで、延べ宿泊者数や観光消費額の目標値を達成していくこととする。さらに、2026年度以降も、ワールドマスターズゲームズやIR開業など、関西を中心に大きな経済効果が期待できるイベント等が控えており、2024、2025年度の取組みによる成功体験を後年度に波及させ、持続的な発展に繋げていく。 来訪者満足度については、2021年度からの2か年でほぼ目標値に近い実績値となっているが、旅行者の行動や心理を的確に捉えて、客観的なデータに基づくコンテンツの造成・磨き上げ、シームレスによる宿泊、交通、体験等に係る予約・決済サービスの提供、旅行者へのプッシュ型によるタイムリーな情報発信等を行うことで、旅行者の満足度を高め、徳島のファンを増やし、リピーターの獲得に繋げていくこととする。 住民満足度は、地域住民が「とくしまの良さを再発見」できるようなマイクロツーリズム事業や、住民を対象とする地域の魅力の啓発活動等を継続して実施するとともに、イーストとくしまが事務局を担う「（仮称）観光地域まちづくりWG」を通して、DMOが地域のまちづくりに積極的に関与していくことで、住民が持つおもてなしの気持ちを高めつつ、誘客に対する積極的な参加を促し、住民の地域への誇りと愛着の醸成を図ることで、数値の向上に繋げていく。

	2021年度（1年目）	2022年度（2年目）	2023年度（3年目）	2024年度（4年目）	2025年度（5年目）	2026年度（6年目）	合計
交付対象事業経費【②】 ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。	36,720千円	33,000千円	29,620千円	28,020千円	26,560千円	0千円	153,920千円
交付対象事業における単位当たりコスト【②/	1,049.14千円	532.26千円	9,873.33千円	5,604.00千円	1,681.01千円	0.00千円	1,274.17千円
交付対象事業におけるハード事業経費【③】	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
交付対象事業におけるハード事業比率【③/②】	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
交付対象事業経費の増減率【新/旧】							
増額上限確認欄							

第2世代交付金を活用した事業を継続的に進めるための自己点検シートを活用した見直しの検討	有

KPIの実績等、事業進捗や効果検証を踏まえた事業の見直し内容及び考え方 **※増額又は企業版ふるさと納税のインセンティブによる事業期間延長を行う場合は、外部組織等の第三者評価を実施した上での見直し内容及び考え方を記載すること。**	2023年通年でみると、円安の影響もあり、訪日外国人の旅行消費額が5兆円を超え、過去最高となった。しかしながら、これは東京、京都、大阪の都市部を中心とするもので、地方ではコロナ禍から回復の兆しはあるものの、その効果は限定的で未だ回復途上である。 徳島東部のKPI指標では、宿泊者数が前年度から大幅に改善されたものの、消費額が期待される外国人観光客が徳島東部まで十分に来訪しておらず、観光消費額は目標数値の達成に至らなかった。 住民満足度は、2021年度に初めて調査を行い、2023年度が3回目の調査となったが、対前年度から数値は上昇し、単年度目標を達成したが、地域全体での観光客誘致に取組む風土の醸成に至らず、期間全体での目標数値の達成には至っていない。 2024年度に開催した、イーストとくしま設置の外部評価委員会及び徳島市設置の総合計画・総合戦略推進委員会の委員からは、次のような指摘・意見があった。 ・旅行者がストレスなく移動でき、情報を得られ、決済ができる体制を整えることが重要で、こうした体制を構築するこで、データ収集や分析にもつながるため、観光DXに注力してもらいたい。 ・地域づくりに必要な要件である、プレイヤー、コミュニティ、経済であるが、DMOはこの3つのすべてに関わっていくことができるため、地域の多様な事業者や関係者が集まって取組みを進めていく旗振り役としての役割を強化してもらいたい。 こうした意見や収入とのバランスを踏まえて、事業を選択と集中し、新たな旅行ニーズに対応し、インバウンド市場の需要の取り込みを期待できる、遍路道や山・海・川といった自然を活用したアドベンチャートラベル、サステナブルツーリズムの造成・磨き上げに力点を置き、「通年型・滞在型観光」への転換を図る。観光DXの推進では、観光アプリを活用した取組みを地域一体で進め、多様化する旅行者ニーズを的確に捉え、客観的なデータに基づく観光地経営を実践していく。DMOを中心とする地域づくりでは、これまでの行政や会員である観光事業者を対象に開催してきた「協議会」に加えて、イーストとくしまDMOが旗振り役となり、地域の宿泊事業者を主なメンバーとする意見交換会の場を設け、様々な意見の集約やDMO・宿泊施設の各々の取組みを融合させて、相乗効果があげていくこととする。 また、2025年度開催の万博を絶好の機会と捉え、関西方面での徳島東部の認知度を向上させ、誘客を促進し、、延べ宿泊者数や観光消費額の目標値を達成していく。さらに、2026年度以降も、ワールドマスターズゲームズやIR開業など、関西を中心に大きな経済効果が期待できるイベントが控えており、2024、2025年度の取組みによる成功体験を後年度に波及させ、持続的な発展に繋げていく。 来訪者満足度は、2021年度からの3か年でほぼ目標値に近い数値となっており、旅行者の行動や心理を的確に捉えて、客観的なデータに基づくコンテンツの造成・磨き上げ、シームレスによる宿泊、交通、体験等に係る予約・決済サービスの提供、旅行者へのプッシュ型によるタイムリーな情報発信等を行うことで、満足度を高め、徳島のファンを増やし、リピーターの獲得に繋げていくこととする。 住民満足度は、地域住民が「とくしまの良さを再発見」できるようなマイクロツーリズム事業や、住民を対象とする地域の魅力の啓発活動等を継続して実施するとともに、将来の徳島の観光を担う人材を育成する取組みを行うことで、DMOが地域のまちづくりに積極的に関与し、住民が持つおもてなしの気持ちを高めつつ、誘客に対する積極的な参加を促し、住民の地域への誇りと愛着の醸成を図ることで、数値の向上に繋げていく。

	2021年度（1年目）	2022年度（2年目）	2023年度（3年目）	2024年度（4年目）	2025年度（5年目）	2026年度（6年目）	合計
交付対象事業経費【②】 ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。	36,720千円	33,000千円	29,620千円	28,020千円	26,560千円	0千円	153,920千円
交付対象事業における単位当たりコスト【②/	1,049.14千円	532.26千円	9,873.33千円	5,604.00千円	1,681.01千円	0.00千円	1,274.17千円
交付対象事業におけるハード事業経費【③】	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
交付対象事業におけるハード事業比率【③/②】	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
交付対象事業経費の増減率【新/旧】	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00
増額上限確認欄	―	―	―	―	―		

8. 経費内訳

＜ 2021年度（1年目）＞

全事業期間における本年の位置付け								
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③	
年 月	年 月	年 月		年 月		年 月		
交付対象事業経費								36,720千円
交付対象事業費におけるソフト事業経費					要素事業数		計	36,720千円
1					関連するKPI			14,520千円
2					関連するKPI			4,240千円
3					関連するKPI			17,960千円

8. 経費内訳

＜ 2021年度（1年目）＞

全事業期間における本年の位置付け	事業初年度の位置づけとして、まずはフラッグシップとなる観光コンテンツの開発を中心に据え、得られた知見を反映しながら、その他の事業を実施する。							
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③	
2021 年 4 月	2022 年 3 月	2021 年 3 月	当初	年 月		年 月		
交付対象事業経費								36,720千円
交付対象事業費におけるソフト事業経費					要素事業数	3	計	36,720千円
1	①「新しい旅行スタイル」に対応したニューツーリズムの推進（14,520千円） １自治体では対応できない課題解決や旅行者・住民のニーズを満たすための体制整備のほか、地域のフラッグシップとなるコンテンツ（東徳島トレイル、ウォーターウェイツーリズム）、域内周遊を促進するためのショーケースの役割を果たし、滞在時間の延伸を目的としたコンテンツ（ナイトタイムツーリズム）、15市町村の域内周遊及び旅行者を新たな収益とした新規事業を推進するコンテンツ（クラフト＆ツーリズム）の磨き上げを行い、情報発信や販売促進（商談会への参加、OTA等への掲載促進）を行う。					関連するKPI	①、②、③		
	(1) 東徳島トレイル開発事業（4,500千円） ・道標設置等トレイルコースの整備委託費 1,500千円 ・パンフレット作成・HP改修・SNS発信等広報費用 1,500千円 ・旅行会社・メディア向けファムツアー実施費用 1,000千円 ・展示会出展・OTA掲載費用 500千円 (2) ウォーターウェイツーリズム開発事業（4,000千円） ・コンテンツ磨き上げ・マーケティング調査委託費 1,500千円 ・パンフレット作成・HP改修・SNS発信等広報費用 1,000千円 ・旅行会社・メディア向けファムツアー実施費用 1,000千円 ・展示会出展・OTA掲載費用 500千円 (3) クラフト＆フードツーリズム開発事業（3,500千円） ・コンテンツ磨き上げ・マーケティング調査委託費 1,500千円 ・パンフレット作成・HP改修・SNS発信等広報費用 1,000千円 ・旅行会社・メディア向けファムツアー実施費用 500千円 ・展示会出展・OTA掲載費用 500千円 (4) ナイトタイムツーリズム開発事業（2,520千円） ・コンテンツ磨き上げ・マーケティング調査委託費 1,000千円 ・パンフレット作成・HP改修・SNS発信等広報費用 1,000千円 ・旅行会社・メディア向けファムツアー実施費用 270千円 ・展示会出展・OTA掲載費用 250千円								14,520千円
2	② シビックプライド醸成・創業人材育成事業（4,240千円） 開発したコンテンツを活用した新規ビジネスを実施するための創業人材育成や地域の魅力を再発見し、住民満足度を高めるためのシビックプライド醸成を行う。					関連するKPI	①、④		
	(1) マイクロツーリズム推進事業(2,000千円) ・地域住民向けWS（4回程度）の実施委託 1,000千円 ・事業者向け研修会（4回程度）の実施委託 1,000千円 (2) 観光満足度・住民満足度等調査事業(1,500千円) ・調査委託費 1,500千円 (3) 創業人材育成事業（740千円） ・講師謝金・旅費 500千円 ・広報チラシ作成費 140千円 ・会場借上費 100千円								4,240千円
3	③ 上記に必要な管理費等（17,960千円）					関連するKPI	①、②、③、④		
	(1) プロパー雇用等に要する経費（14,150千円） ・ニューツーリズムに係る専門家人材（CMO）給与 9,000千円 ・ニューツーリズム推進に係る事務職員給与 3,300千円 ・上記職員に係る法定福利費 1,850千円 (2) その他管理経費（3,810千円） ・ニューツーリズム推進に係る旅費、通信運搬費、消耗品費、賃借料等 3,810千円								17,960千円

交付対象事業費におけるハード事業経費	要素事業数		計	0千円
経費内訳変更の理由（事業の見直しを踏まえて、変更する理由を具体的に記載）				
記載不要				

地方公共団体別交付対象事業経費内訳

地方公共団体名	ソフト事業経費	ハード事業経費	地方公共団体計
徳島県徳島市	16,640千円	0千円	16,640千円
徳島県鳴門市	1,870千円	0千円	1,870千円
徳島県小松島市	1,870千円	0千円	1,870千円
徳島県吉野川市	1,870千円	0千円	1,870千円
徳島県阿波市	1,870千円	0千円	1,870千円
徳島県勝浦町	1,260千円	0千円	1,260千円
徳島県上勝町	1,260千円	0千円	1,260千円
徳島県佐那河内村	1,260千円	0千円	1,260千円
徳島県石井町	1,260千円	0千円	1,260千円
徳島県神山町	1,260千円	0千円	1,260千円
徳島県松茂町	1,260千円	0千円	1,260千円
徳島県北島町	1,260千円	0千円	1,260千円
徳島県藍住町	1,260千円	0千円	1,260千円
徳島県板野町	1,260千円	0千円	1,260千円
徳島県上板町	1,260千円	0千円	1,260千円

交付対象事業費におけるハード事業経費	要素事業数	0	計	0千円
経費内訳変更の理由（事業の見直しを踏まえて、変更する理由を具体的に記載）				

地方公共団体別交付対象事業経費内訳

地方公共団体名	ソフト事業経費	ハード事業経費	地方公共団体計	増額上限確認欄
徳島県徳島市	16,640千円	0千円	16,640千円	－
徳島県鳴門市	1,870千円	0千円	1,870千円	－
徳島県小松島市	1,870千円	0千円	1,870千円	－
徳島県吉野川市	1,870千円	0千円	1,870千円	－
徳島県阿波市	1,870千円	0千円	1,870千円	－
徳島県勝浦町	1,260千円	0千円	1,260千円	－
徳島県上勝町	1,260千円	0千円	1,260千円	－
徳島県佐那河内村	1,260千円	0千円	1,260千円	－
徳島県石井町	1,260千円	0千円	1,260千円	－
徳島県神山町	1,260千円	0千円	1,260千円	－
徳島県松茂町	1,260千円	0千円	1,260千円	－
徳島県北島町	1,260千円	0千円	1,260千円	－
徳島県藍住町	1,260千円	0千円	1,260千円	－
徳島県板野町	1,260千円	0千円	1,260千円	－
徳島県上板町	1,260千円	0千円	1,260千円	－

＜ 2022年度（2年目） ＞

全事業期間における本年の位置付け	

事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
年 月	年 月	年 月		年 月		年 月	

交付対象事業経費	33,000千円

交付対象事業費におけるソフト事業経費	要素事業数		計	33,000千円

1		関連するKPI		14,250千円
2		関連するKPI		4,240千円
3		関連するKPI		14,510千円

交付対象事業費におけるハード事業経費	要素事業数		計	0千円

経費内訳変更の理由（事業の見直しを踏まえて、変更する理由を具体的に記載）
記 載 不 要

＜ 2022年度（2年目） ＞

全事業期間における本年の位置付け	事業初年度の取組により得られた課題やニーズを分析し、改善しながら実施する。事業2年目の位置づけとして、開発したフラッグシップコンテンツの本格的な国内向け販売と、コロナ収束後を見据えたインバウンド向け情報発信を広域DMOと連携して実施する。また、販売した商品のフォローアップを実施し、コンテンツの更なる磨き上げを実施する。

事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2022 年 4 月	2023 年 3 月	2022 年 3 月	当初	年 月		年 月	

交付対象事業経費	33,000千円

交付対象事業費におけるソフト事業経費	要素事業数	3	計	33,000千円

1	①「新しい旅行スタイル」に対応したニューツーリズムの推進（14,250千円） １自治体では対応できない課題解決や旅行者・住民のニーズを満たすための体制整備、地域のフラッグシップとなるコンテンツ（ニューツーリズム）の開発・商品造成、開発したコンテンツの情報発信や販売促進（商談会への参加、OTA等への掲載促進）を行う。	関連するKPI	①、②、③	14,250千円
	(1) 東徳島トレイル開発事業（4,500千円） ・パンフレット作成・HP改修・SNS発信等広報費用 1,500千円 ・旅行会社・メディアを対象としたファムツアー等実施費用 1,500千円 ・展示会出展・OTA掲載等費用 1,000千円 ・その他トレイル開発に係る費用 500千円 (2) ウォーターウェイツーリズム開発事業（4,000千円） ・コンテンツ磨き上げ・マーケティング調査委託費 1,500千円 ・パンフレット作成・HP改修・SNS発信等広報費用 1,000千円 ・旅行会社・メディア向けファムツアー等実施費用 500千円 ・展示会出展・OTA掲載等費用 500千円 ・その他ウォーターウエイ観光コンテンツ開発に係る費用 500千円 (3) クラフト＆フードツーリズム開発事業（3,500千円） ・コンテンツ磨き上げ・マーケティング調査委託費 2,000千円 ・パンフレット作成・HP改修・SNS発信等広報費用 500千円 ・旅行会社・メディア向けファムツアー等実施費用 500千円 ・その他クラフト＆フードツーリズムコンテンツ開発に係る費用 500千円 (4) ナイトタイムツーリズム開発事業（2,250千円） ・コンテンツ磨き上げ・マーケティング調査等委託費 1,500千円 ・パンフレット作成・HP改修・SNS発信等広報費用 500千円 ・その他ナイトタイムコンテンツ開発に係る費用 250千円			
2	②シビックプライド醸成・創業人材育成事業（4,240千円） 開発したコンテンツを活用した新規ビジネスを実施するための創業人材育成や地域の魅力を再発見し、住民満足度を高めるためのシビックプライド醸成を行う。	関連するKPI	①、④	4,240千円
	(1)マイクロツーリズム推進事業(2,000千円) ・地域住民・事業者等向けWS等実施委託費 1,000千円 ・募集型企画旅行等支援金 750千円 ・その他マイクロツーリズム推進に係る費用 250千円 (2)観光満足度・住民満足度等調査事業(1,500千円) ・調査委託費 1,500千円 (3)創業人材育成事業（740千円） ・講師謝金・旅費 500千円 ・広報チラシ作成費 140千円 ・会場借上費 100千円			
3	③上記に必要な管理費等（14,510千円）	関連するKPI	①、②、③、④	14,510千円
	(1) プロパー雇用等に要する経費（ 10,700千円） ・ニューツーリズムに係る専門家人材（CMO）給与 6,000千円 ・ニューツーリズム推進に係る事務職員給与 3,300千円 ・上記職員に係る法定福利費 1,400千円 (2)その他管理経費（3,810千円）			

交付対象事業費におけるハード事業経費	要素事業数	0	計	0千円

経費内訳変更の理由（事業の見直しを踏まえて、変更する理由を具体的に記載）

地方公共団体別交付対象事業経費内訳			
地方公共団体名	ソフト事業経費	ハード事業経費	地方公共団体計
徳島県徳島市	14,980千円	0千円	14,980千円
徳島県鳴門市	1,680千円	0千円	1,680千円
徳島県小松島市	1,680千円	0千円	1,680千円
徳島県吉野川市	1,680千円	0千円	1,680千円
徳島県阿波市	1,680千円	0千円	1,680千円
徳島県勝浦町	1,130千円	0千円	1,130千円
徳島県上勝町	1,130千円	0千円	1,130千円
徳島県佐那河内村	1,130千円	0千円	1,130千円
徳島県石井町	1,130千円	0千円	1,130千円
徳島県神山町	1,130千円	0千円	1,130千円
徳島県松茂町	1,130千円	0千円	1,130千円
徳島県北島町	1,130千円	0千円	1,130千円
徳島県藍住町	1,130千円	0千円	1,130千円
徳島県板野町	1,130千円	0千円	1,130千円
徳島県上板町	1,130千円	0千円	1,130千円

地方公共団体別交付対象事業経費内訳				
地方公共団体名	ソフト事業経費	ハード事業経費	地方公共団体計	増額上限確認欄
徳島県徳島市	14,980千円	0千円	14,980千円	－
徳島県鳴門市	1,680千円	0千円	1,680千円	－
徳島県小松島市	1,680千円	0千円	1,680千円	－
徳島県吉野川市	1,680千円	0千円	1,680千円	－
徳島県阿波市	1,680千円	0千円	1,680千円	－
徳島県勝浦町	1,130千円	0千円	1,130千円	－
徳島県上勝町	1,130千円	0千円	1,130千円	－
徳島県佐那河内村	1,130千円	0千円	1,130千円	－
徳島県石井町	1,130千円	0千円	1,130千円	－
徳島県神山町	1,130千円	0千円	1,130千円	－
徳島県松茂町	1,130千円	0千円	1,130千円	－
徳島県北島町	1,130千円	0千円	1,130千円	－
徳島県藍住町	1,130千円	0千円	1,130千円	－
徳島県板野町	1,130千円	0千円	1,130千円	－
徳島県上板町	1,130千円	0千円	1,130千円	－

＜ 2023年度（3年目） ＞

全事業期間における本年の位置付け	

事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
年 月	年 月	年 月		年 月		年 月	

交付対象事業経費	29,620千円

交付対象事業費におけるソフト事業経費	要素事業数		計	29,620千円

1		関連するKPI		10,870千円
2		関連するKPI		4,240千円
3		関連するKPI		14,510千円

交付対象事業費におけるハード事業経費	要素事業数		計	0千円

経費内訳変更の理由（事業の見直しを踏まえて、変更する理由を具体的に記載）
記 載 不 要

＜ 2023年度（3年目） ＞

全事業期間における本年の位置付け	事業初年度及び2年目の取組により得られた課題やニーズを分析し、改善しながら実施する。事業3年目の位置づけとして、開発したフラッグシップコンテンツの国内での販売のほか、インバウンド（主に欧米豪）向け販売を本格化する。インバウンド向け情報発信や販売は広域DMOと連携して実施し、販売した商品のフォローアップにより、コンテンツの更なる磨き上げを実施する。また、開発したコンテンツを活用した誘客拡大のため、コンベンション（例：東徳島トレイルの全国大会）を開催するための準備を進める。

事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2023 年 4 月	2024 年 3 月	2023 年 3 月	当初	年 月		年 月	

交付対象事業経費	29,620千円

交付対象事業費におけるソフト事業経費	要素事業数	3	計	29,620千円

1	①「新しい旅行スタイル」に対応したニューツーリズムの推進（10,870千円） 一つの自治体では対応が難しい課題解決や旅行者・住民のニーズを満たすための体制整備、地域のフラッグシップとなるコンテンツ（ニューツーリズム）の開発・商品造成、開発したコンテンツの情報発信や販売促進（商談会への参加、OTA等への掲載促進）を行う。また、造成したコンテンツを活用したコンベンションの開催準備を行う。	関連するKPI	①、②、③	
	(1)東徳島トレイル開発事業（3,000千円） ・SNS等デジタルプロモーション・パンフレット作成費用　500千円 ・トレイル・サスティナブルファムツアー等実施費用　1,000千円 ・アドベンチャートラベルWS・OTA掲載等費用　1,000千円 ・その他アドベンチャーツーリズム推進に係る費用　500千円 (2)ウォーターウェイツーリズム開発事業（3,000千円） ・SNS等デジタルプロモーション・パンフレット作成費用　500千円 ・関西圏連携海上交通ファムツアー等実施費用　1,000千円 ・国内外展示会出展・OTA掲載等費用　1,000千円 ・その他ウォーターウエイ観光コンテンツ造成に係る費用　500千円 (3)クラフト＆フードツーリズム開発事業（3,000千円） ・SNS等デジタルプロモーション・パンフレット作成費用　1,000千円 ・インバウンド向けセールスプロモーション促進費用　1,000千円 ・国内外展示会出展・OTA掲載等費用　500千円 ・その他クラフト＆フードツーリズムコンテンツ造成に係る費用　500千円 (4)ナイトタイムツーリズム開発事業（1,870千円） ・SNS等デジタルプロモーション・パンフレット作成費用　500千円 ・ナイトタイムエコノミー促進費用　1,000千円 ・その他ナイトタイムコンテンツ造成に係る費用　370千円			10,870千円
2	②シビックプライド醸成・創業人材育成事業（4,240千円） 開発したコンテンツを活用した新規ビジネスを実施するための創業人材育成や地域の魅力を再発見し、住民満足度を高めるためのシビックプライド醸成を行う。	関連するKPI	①、④	
	(1)マイクロツーリズム推進事業(1,500千円) ・地域事業者等向け会議等開催費　250千円 ・体験型企画旅行等支援金　1,000千円 ・その他マイクロツーリズム推進に係る費用　250千円 (2)観光満足度・住民満足度等調査事業(2,000千円) ・来訪者観光満足度調査委託費　600千円 ・住民満足度調査委託費　1,400千円 (3)創業人材育成事業（740千円） ・講師謝金・費用弁償旅費　500千円 ・広報チラシ作成費　140千円 ・会場借上費　100千円			4,240千円
3	③上記に必要な管理費等（14,510千円）	関連するKPI	①、②、③、④	
	(1)プロパー雇用等に要する経費（10,500千円） ・ニューツーリズムに係る専門家人材（CMO）給与　6,000千円 ・ニューツーリズム推進に係る派遣事務職員費用　3,300千円 ・上記職員に係る法定福利費　1,200千円 (2)その他管理経費（4,010千円）			14,510千円

交付対象事業費におけるハード事業経費	要素事業数	0	計	0千円

経費内訳変更の理由（事業の見直しを踏まえて、変更する理由を具体的に記載）

地方公共団体別交付対象事業経費内訳			
地方公共団体名	ソフト事業経費	ハード事業経費	地方公共団体計
徳島県徳島市	13,480千円	0千円	13,480千円
徳島県鳴門市	1,510千円	0千円	1,510千円
徳島県小松島市	1,510千円	0千円	1,510千円
徳島県吉野川市	1,510千円	0千円	1,510千円
徳島県阿波市	1,510千円	0千円	1,510千円
徳島県勝浦町	1,010千円	0千円	1,010千円
徳島県上勝町	1,010千円	0千円	1,010千円
徳島県佐那河内村	1,010千円	0千円	1,010千円
徳島県石井町	1,010千円	0千円	1,010千円
徳島県神山町	1,010千円	0千円	1,010千円
徳島県松茂町	1,010千円	0千円	1,010千円
徳島県北島町	1,010千円	0千円	1,010千円
徳島県藍住町	1,010千円	0千円	1,010千円
徳島県板野町	1,010千円	0千円	1,010千円
徳島県上板町	1,010千円	0千円	1,010千円

地方公共団体別交付対象事業経費内訳				
地方公共団体名	ソフト事業経費	ハード事業経費	地方公共団体計	増額上限確認欄
徳島県徳島市	13,480千円	0千円	13,480千円	－
徳島県鳴門市	1,510千円	0千円	1,510千円	－
徳島県小松島市	1,510千円	0千円	1,510千円	－
徳島県吉野川市	1,510千円	0千円	1,510千円	－
徳島県阿波市	1,510千円	0千円	1,510千円	－
徳島県勝浦町	1,010千円	0千円	1,010千円	－
徳島県上勝町	1,010千円	0千円	1,010千円	－
徳島県佐那河内村	1,010千円	0千円	1,010千円	－
徳島県石井町	1,010千円	0千円	1,010千円	－
徳島県神山町	1,010千円	0千円	1,010千円	－
徳島県松茂町	1,010千円	0千円	1,010千円	－
徳島県北島町	1,010千円	0千円	1,010千円	－
徳島県藍住町	1,010千円	0千円	1,010千円	－
徳島県板野町	1,010千円	0千円	1,010千円	－
徳島県上板町	1,010千円	0千円	1,010千円	－

＜ 2024年度（4年目） ＞

全事業期間における本年の位置付け	

事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
年 月	年 月	年 月		年 月		年 月	

交付対象事業経費	28,020千円

交付対象事業費におけるソフト事業経費	要素事業数		計	28,020千円

1		関連するKPI		6,800千円
2		関連するKPI		3,600千円
3		関連するKPI		1,600千円
4		関連するKPI		1,500千円

＜ 2024年度（4年目） ＞

全事業期間における本年の位置付け	事業開始から3年間の課題と成果や、新型コロナウィルス感染症の流行を経て、大きく変化した生活・行動様式と多様化する旅行ニーズを踏まえて、開発したアドベンチャートラベルやサスティナブルを中心としたフラッグシップコンテンツの国内外での販売強化のほか、客観的なデータに基づく観光コンテンツの造成と更なる磨き上げを継続して実施するとともに、面的DXの推進により、地域が一体となったデータドリブンによる観光地経営や、2025大阪・関西万博に向けた関西関係機関と連携した取組みと集中的なプロモーションを推進していく年度として位置づけしている。

事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2024 年 4 月	2025 年 3 月	2024 年 3 月	当初	年 月		年 月	

交付対象事業経費	28,020千円

交付対象事業費におけるソフト事業経費	要素事業数	5	計	28,020千円

1	①「新しい旅行スタイル」に対応したニューツーリズムの推進（6,800千円） 山、海、川といった自然や遍路道を活用したアドベンチャートラベル（AT）及びサステナブルツーリズム（ST）を中心とする地域固有のフラッグシップとなるコンテンツ（ニューツーリズム）の造成・磨き上げや、徳島の魅力を国内外に広く情報発信するために、SNSとHPによるプロモーション、県外商談会等でニューツーリズムの商品の販売を促進するための観光素材集を製作する。 ・SNSプロモーション・HP情報発信・観光素材集製作費（委託費・広告宣伝費） 5,200千円 （徳島市2,374千円、鳴門市264千円、小松島市264千円、吉野川市264千円、阪神市264千円、勝浦町177千円、上勝町177千円、佐那河内村177千円、石井町177千円、神山町177千円、松茂町177千円、北島町177千円、藍住町177千円、板野町177千円、上板町177千円） ・AT・STの造成・磨き上げ費（委託費） 1,300千円 （徳島市594千円、鳴門市67千円、小松島市67千円、吉野川市66千円、阪神市66千円、勝浦町44千円、上勝町44千円、佐那河内村44千円、石井町44千円、神山町44千円、松茂町44千円、北島町44千円、藍住町44千円、板野町44千円、上板町44千円） ・ニューツーリズム推進に係る事務費（会議費、通信運搬費、消耗品費、賃借料、印刷費、広告宣伝費、委託費） 300千円 （徳島市138千円、鳴門市15千円、小松島市15千円、吉野川市16千円、阪神市16千円、勝浦町10千円、上勝町10千円、佐那河内村10千円、石井町10千円、神山町10千円、松茂町10千円、北島町10千円、藍住町10千円、板野町10千円、上板町10千円）	関連するKPI	①、②、③	6,800千円
2	②シビックプライド醸成・観光人材育成・観光地域まちづくりの推進（3,600千円） 地域で観光に携わる次世代の人材を育成するとともに、マイクロツーリズムの推進による住民の地域への誇りの醸成と愛着の向上に繋がる取組みを行う。また、観光地域づくりのマスタープランとなる「地域計画」の着実な実現に向けた「（仮称）観光地域まちづくりWG」により、地域への更なる浸透を図ることでシビックプライドの醸成を図る。 ・観光満足度・住民満足度調査費（委託費） 1,500千円 （徳島市685千円、鳴門市77千円、小松島市76千円、吉野川市76千円、阪神市76千円、勝浦町51千円、上勝町51千円、佐那河内村51千円、石井町51千円、神山町51千円、松茂町51千円、北島町51千円、藍住町51千円、板野町51千円、上板町51千円） ・マイクロツーリズム推進費用（委託費） 800千円 （徳島市366千円、鳴門市41千円、小松島市41千円、吉野川市41千円、阪神市41千円、勝浦町27千円、上勝町27千円、佐那河内村27千円、石井町27千円、神山町27千円、松茂町27千円、北島町27千円、藍住町27千円、板野町27千円、上板町27千円） ・観光人材育成費（講師謝金旅費・広告宣伝費・会場費・資料作成費） 500千円 （徳島市227千円、鳴門市25千円、小松島市26千円、吉野川市26千円、阪神市26千円、勝浦町17千円、上勝町17千円、佐那河内村17千円、石井町17千円、神山町17千円、松茂町17千円、北島町17千円、藍住町17千円、板野町17千円、上板町17千円） ・観光地域まちづくりWG運営費（講師謝金旅費・広告宣伝費・会場費・資料作成費） 600千円 （徳島市276千円、鳴門市31千円、小松島市31千円、吉野川市31千円、阪神市31千円、勝浦町20千円、上勝町20千円、佐那河内村20千円、石井町20千円、神山町20千円、松茂町20千円、北島町20千円、藍住町20千円、板野町20千円、上板町20千円） ・シビックプライド醸成に係る事務費（会議費、通信運搬費、消耗品費、賃借料、印刷費、広告宣伝費、委託費） 200千円 （徳島市90千円、鳴門市10千円、小松島市10千円、吉野川市10千円、阪神市10千円、勝浦町7千円、上勝町7千円、佐那河内村7千円、石井町7千円、神山町7千円、松茂町7千円、北島町7千円、藍住町7千円、板野町7千円、上板町7千円）	関連するKPI	①、④	3,600千円
3	③面的DXの推進（1,600千円） 面的DXの推進により、地域で稼ぐ力を強化し、持続性の高い観光地としていくため、観光アプリを活用したDMPの充実強化を図るとともに、将来を見据えた観光デジタル人材の育成を行う。 ・周遊促進に向けた企画商品開発・運営費（委託費） 1,000千円 （徳島市456千円、鳴門市51千円、小松島市51千円、吉野川市51千円、阪神市51千円、勝浦町34千円、上勝町34千円、佐那河内村34千円、石井町34千円、神山町34千円、松茂町34千円、北島町34千円、藍住町34千円、板野町34千円、上板町34千円） ・観光デジタル人材の育成費（講師謝金旅費・広告宣伝費・会場費・資料作成費） 500千円 （徳島市229千円、鳴門市26千円、小松島市25千円、吉野川市25千円、阪神市25千円、勝浦町17千円、上勝町17千円、佐那河内村17千円、石井町17千円、神山町17千円、松茂町17千円、北島町17千円、藍住町17千円、板野町17千円、上板町17千円） ・面的DX推進に係る事務費（会議費、通信運搬費、消耗品費、賃借料、印刷費、広告宣伝費、委託費） 100千円 （徳島市47千円、鳴門市5千円、小松島市6千円、吉野川市6千円、阪神市6千円、勝浦町3千円、上勝町3千円、佐那河内村3千円、石井町3千円、神山町3千円、松茂町3千円、北島町3千円、藍住町3千円、板野町3千円、上板町3千円）	関連するKPI	①、②、③	1,600千円
4	④大阪・関西万博関連事業（1,500千円） 関西の関連機関と連携し、関西と徳島を結んだストーリー性のある周遊コンテンツを造成するとともに、徳島東部の認知度向上に向けた関西方面での集中的なプロモーションを展開する。 ・周遊コンテンツの造成費（委託費） 800千円 （徳島市366千円、鳴門市41千円、小松島市41千円、吉野川市41千円、阪神市41千円、勝浦町27千円、上勝町27千円、佐那河内村27千円、石井町27千円、神山町27千円、松茂町27千円、北島町27千円、藍住町27千円、板野町27千円、上板町27千円） ・関西方面での集中プロモーション費用（広告宣伝費・委託費） 700千円 （徳島市320千円、鳴門市35千円、小松島市35千円、吉野川市35千円、阪神市35千円、勝浦町24千円、上勝町24千円、佐那河内村24千円、石井町24千円、神山町24千円、松茂町24千円、北島町24千円、藍住町24千円、板野町24千円、上板町24千円）	関連するKPI	①、②、③	1,500千円

5		関連するKPI		14,520千円

交付対象事業費におけるハード事業経費	要素事業数		計	0千円

経費内訳変更の理由（事業の見直しを踏まえて、変更する理由を具体的に記載）

記 載 不 要

地方公共団体別交付対象事業経費内訳

地方公共団体名	ソフト事業経費	ハード事業経費	地方公共団体計
徳島県徳島市	12,800千円	0千円	12,800千円
徳島県鳴門市	1,430千円	0千円	1,430千円
徳島県小松島市	1,430千円	0千円	1,430千円
徳島県吉野川市	1,430千円	0千円	1,430千円
徳島県阿波市	1,430千円	0千円	1,430千円
徳島県勝浦町	950千円	0千円	950千円
徳島県上勝町	950千円	0千円	950千円
徳島県佐那河内村	950千円	0千円	950千円
徳島県石井町	950千円	0千円	950千円
徳島県神山町	950千円	0千円	950千円
徳島県松茂町	950千円	0千円	950千円
徳島県北島町	950千円	0千円	950千円
徳島県藍住町	950千円	0千円	950千円
徳島県板野町	950千円	0千円	950千円
徳島県上板町	950千円	0千円	950千円

5	⑤上記に必要な管理費（14,520千円） （1)プロパー雇用に要する経費（10,500千円） （徳島市4,796千円、鳴門市536千円、小松島市536千円、吉野川市536千円、阿波市536千円、勝浦町356千円、上勝町356千円、佐那河内村356千円、石井町356千円、神山町356千円、松茂町356千円、北島町356千円、藍住町356千円、板野町356千円、上板町356千円） ・ニューツーリズムに係る専門家人材（CMO）給与　6,000千円 ・ニューツーリズム推進に係る職員雇用費用　3,300千円 ・上記職員に係る法定福利費　1,200千円 （2)その他管理費（4,020千円）　会議費、通信運搬費、消耗品費、賃借料、印刷費、広告宣伝費、委託費、諸会費 （徳島市1,836千円、鳴門市206千円、小松島市206千円、吉野川市206千円、阿波市206千円、勝浦町136千円、上勝町136千円、佐那河内村136千円、石井町136千円、神山町136千円、松茂町136千円、北島町136千円、藍住町136千円、板野町136千円、上板町136千円）	関連するKPI	①、②、③、④	14,520千円

交付対象事業費におけるハード事業経費	要素事業数	0	計	0千円

経費内訳変更の理由（事業の見直しを踏まえて、変更する理由を具体的に記載）

地方公共団体別交付対象事業経費内訳

地方公共団体名	ソフト事業経費	ハード事業経費	地方公共団体計	増額上限確認欄
徳島県徳島市	12,800千円	0千円	12,800千円	－
徳島県鳴門市	1,430千円	0千円	1,430千円	－
徳島県小松島市	1,430千円	0千円	1,430千円	－
徳島県吉野川市	1,430千円	0千円	1,430千円	－
徳島県阿波市	1,430千円	0千円	1,430千円	－
徳島県勝浦町	950千円	0千円	950千円	－
徳島県上勝町	950千円	0千円	950千円	－
徳島県佐那河内村	950千円	0千円	950千円	－
徳島県石井町	950千円	0千円	950千円	－
徳島県神山町	950千円	0千円	950千円	－
徳島県松茂町	950千円	0千円	950千円	－
徳島県北島町	950千円	0千円	950千円	－
徳島県藍住町	950千円	0千円	950千円	－
徳島県板野町	950千円	0千円	950千円	－
徳島県上板町	950千円	0千円	950千円	－

＜ 2025年度（5年目）＞　※2025年度以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け							
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
年　月	年　月	年　月		年　月		年　月	
交付対象事業経費	26,560千円						
交付対象事業費におけるソフト事業経費	要素事業数		計	26,560千円			

1		関連するKPI		6,000千円
2		関連するKPI		3,160千円
3		関連するKPI		1,400千円
4		関連するKPI		1,500千円

＜ 2025年度（5年目）＞　※2025年度以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け	インバウンド市場も回復時期から発展時期となり、さらに大阪・関西万博の開催とも重なり、国内旅行・インバウンドともにその需要は隆盛を迎えることが予測される。これまで造成してきたコンテンツや、面的DXによるデータマーケティング、大阪・関西万博関連事業による徳島東部の認知度向上との相乗効果により、延べ宿泊者数や観光消費額の拡大に寄与する年度であり、今回の成功体験をワールドマスターズゲームズ2027やIR開業など、後年度に控えているイベント等にその効果を波及させていく年度と位置付けしている。						
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2025　年　4　月	2026　年　3　月	2025　年　3　月	当初	年　月		年　月	
交付対象事業経費	26,560千円						
交付対象事業費におけるソフト事業経費	要素事業数	5	計	26,560千円			

1	①「新しい旅行スタイル」に対応したニューツーリズムの推進（6,000千円） アドベンチャートラベル（AT）とサステナブルツーリズム（ST）を中心とする地域のフラッグシップとなるコンテンツ（ニューツーリズム）の磨き上げや、徳島の魅力を国内外に広く情報発信するために、SNSによるデジタルプロモーションとHPによる情報発信や、県外商談会等で販売促進を行うための観光素材集を製作する。	関連するKPI	①、②、③	
	・SNSプロモーション・HP情報発信・観光素材集作成費（委託費・広告宣伝費）　4,800千円 （徳島市2,197千円、鳴門市246千円、小松島市246千円、吉野川市246千円、阿波市245千円、勝浦町162千円、上勝町162千円、佐那河内村162千円、石井町162千円、神山町162千円、松茂町162千円、北島町162千円、藍住町162千円、板野町162千円、上板町162千円） ・AT・STの磨き上げ費（委託費）　700千円 （徳島市320千円、鳴門市35千円、小松島市35千円、吉野川市35千円、阿波市35千円、勝浦町24千円、上勝町24千円、佐那河内村24千円、石井町24千円、神山町24千円、松茂町24千円、北島町24千円、藍住町24千円、板野町24千円、上板町24千円） ・ニューツーリズム推進に係る事務費（会議費、通信運搬費、消耗品費、賃借料、印刷費、広告宣伝費、委託費）　500千円 （徳島市230千円、鳴門市25千円、小松島市25千円、吉野川市25千円、阿波市25千円、勝浦町17千円、上勝町17千円、佐那河内村17千円、石井町17千円、神山町17千円、松茂町17千円、北島町17千円、藍住町17千円、板野町17千円、上板町17千円）			6,000千円
2	②シビックプライド醸成・観光人材育成・観光地域まちづくりの推進（3,160千円） 地域で観光に携わる次世代の人材を育成するとともに、マイクロツーリズムの推進による住民の地域への誇りと愛着に繋がる取組みを行う。また、観光地域づくりのマスタープランとなる「地域計画」の着実な実現に向けた「観光地域まちづくりWG」による徳島東部全体への更なる浸透を図ることでシビックプライドの醸成に繋げる。	関連するKPI	①、④	
	・観光満足度・住民満足度調査費（委託費）　1,260千円 （徳島市578千円、鳴門市63千円、小松島市63千円、吉野川市63千円、阿波市63千円、勝浦町43千円、上勝町43千円、佐那河内村43千円、石井町43千円、神山町43千円、松茂町43千円、北島町43千円、藍住町43千円、板野町43千円、上板町43千円） ・マイクロツーリズム推進費用（委託費）　700千円 （徳島市320千円、鳴門市38千円、小松島市38千円、吉野川市37千円、阿波市37千円、勝浦町23千円、上勝町23千円、佐那河内村23千円、石井町23千円、神山町23千円、松茂町23千円、北島町23千円、藍住町23千円、板野町23千円、上板町23千円） ・観光人材育成費（講師謝金旅費・広告宣伝費・会場費・資料作成費）　500千円 （徳島市229千円、鳴門市25千円、小松島市25千円、吉野川市26千円、阿波市25千円、勝浦町17千円、上勝町17千円、佐那河内村17千円、石井町17千円、神山町17千円、松茂町17千円、北島町17千円、藍住町17千円、板野町17千円、上板町17千円） ・観光地域まちづくりWG運営費（講師謝金旅費・広告宣伝費・会場費・資料作成費）　500千円 （徳島市229千円、鳴門市25千円、小松島市25千円、吉野川市25千円、阿波市26千円、勝浦町17千円、上勝町17千円、佐那河内村17千円、石井町17千円、神山町17千円、松茂町17千円、北島町17千円、藍住町17千円、板野町17千円、上板町17千円） ・シビックプライド醸成に係る事務費（会議費、通信運搬費、消耗品費、賃借料、印刷費、広告宣伝費、委託費）　200千円 （徳島市90千円、鳴門市10千円、小松島市10千円、吉野川市10千円、阿波市10千円、勝浦町7千円、上勝町7千円、佐那河内村7千円、石井町7千円、神山町7千円、松茂町7千円、北島町7千円、藍住町7千円、板野町7千円、上板町7千円）			3,160千円
3	③面的DXの推進（1,400千円） 面的DXによる持続性の高い観光地としていくため、観光アプリを活用したDMPの更なる充実を進めていくとともに、将来を見据えた観光デジタル人材の育成を行う。	関連するKPI	①、②、③	
	・周遊促進に向けた企画商品普及促進費（委託費）　800千円 （徳島市366千円、鳴門市41千円、小松島市41千円、吉野川市41千円、阿波市41千円、勝浦町27千円、上勝町27千円、佐那河内村27千円、石井町27千円、神山町27千円、松茂町27千円、北島町27千円、藍住町27千円、板野町27千円、上板町27千円） ・観光デジタル人材の育成費（講師謝金旅費・広告宣伝費・会場費・資料作成費）　500千円 （徳島市230千円、鳴門市25千円、小松島市25千円、吉野川市25千円、阿波市25千円、勝浦町17千円、上勝町17千円、佐那河内村17千円、石井町17千円、神山町17千円、松茂町17千円、北島町17千円、藍住町17千円、板野町17千円、上板町17千円） ・面的DX推進に係る事務費（会議費、通信運搬費、消耗品費、賃借料、印刷費、広告宣伝費、委託費）　100千円 （徳島市46千円、鳴門市6千円、小松島市6千円、吉野川市6千円、阿波市6千円、勝浦町3千円、上勝町3千円、佐那河内村3千円、石井町3千円、神山町3千円、松茂町3千円、北島町3千円、藍住町3千円、板野町3千円、上板町3千円）			1,400千円
4	④大阪・関西万博関連事業（1,500千円） 関西と徳島を結んだストーリー性のある周遊コンテンツの磨き上げとフォローアップを行うとともに、万博開催年度にあわせて、徳島東部の認知度向上に向けた集中的なプロモーションを展開する。	関連するKPI	①、②、③	
	・周遊コンテンツの磨き上げ・情報発信費（委託費・広告宣伝費）　500千円 （徳島市230千円、鳴門市25千円、小松島市25千円、吉野川市25千円、阿波市25千円、勝浦町17千円、上勝町17千円、佐那河内村17千円、石井町17千円、神山町17千円、松茂町17千円、北島町17千円、藍住町17千円、板野町17千円、上板町17千円） ・関西方面での集中プロモーション費用（広告宣伝費・委託費）　1,000千円 （徳島市456千円、鳴門市51千円、小松島市51千円、吉野川市51千円、阿波市51千円、勝浦町34千円、上勝町34千円、佐那河内村34千円、石井町34千円、神山町34千円、松茂町34千円、北島町34千円、藍住町34千円、板野町34千円、上板町34千円）			1,500千円

5		関連するKPI		14,500千円

交付対象事業費におけるハード事業経費	要素事業数		計	0千円

経費内訳変更の理由（事業の見直しを踏まえて、変更する理由を具体的に記載）

記 載 不 要

地方公共団体別交付対象事業経費内訳

地方公共団体名	ソフト事業経費	ハード事業経費	地方公共団体計
徳島県徳島市	12,160千円	0千円	12,160千円
徳島県鳴門市	1,350千円	0千円	1,350千円
徳島県小松島市	1,350千円	0千円	1,350千円
徳島県吉野川市	1,350千円	0千円	1,350千円
徳島県阿波市	1,350千円	0千円	1,350千円
徳島県勝浦町	900千円	0千円	900千円
徳島県上勝町	900千円	0千円	900千円
徳島県佐那河内村	900千円	0千円	900千円
徳島県石井町	900千円	0千円	900千円
徳島県神山町	900千円	0千円	900千円
徳島県松茂町	900千円	0千円	900千円
徳島県北島町	900千円	0千円	900千円
徳島県藍住町	900千円	0千円	900千円
徳島県板野町	900千円	0千円	900千円
徳島県上板町	900千円	0千円	900千円

5	⑤上記に必要な管理費（14,500千円） （1)プロパー雇用に要する経費（10,500千円） （徳島市4,808千円、鳴門市532千円、小松島市533千円、吉野川市533千円、阿波市534千円、勝浦町356千円、上勝町356千円、佐那河内村356千円、石井町356千円、神山町356千円、松茂町356千円、北島町356千円、藍住町356千円、板野町356千円、上板町356千円） ・ニューツーリズムに係る専門家人材（CMO）給与　6,000千円 ・ニューツーリズム推進に係る職員雇用費用　3,300千円 ・上記職員に係る法定福利費　1,200千円 （2)その他管理費（4,000千円）会議費、通信運搬費、消耗品費、、賃借料、印刷費、広告宣伝費、委託費、諸会費 （徳島市1,831千円、鳴門市203千円、小松島市202千円、吉野川市202千円、阿波市202千円、勝浦町136千円、上勝町136千円、佐那河内村136千円、石井町136千円、神山町136千円、松茂町136千円、北島町136千円、藍住町136千円、板野町136千円、上板町136千円）	関連するKPI	①、②、③、④	14,500千円

交付対象事業費におけるハード事業経費	要素事業数	0	計	0千円

経費内訳変更の理由（事業の見直しを踏まえて、変更する理由を具体的に記載）

地方公共団体別交付対象事業経費内訳

地方公共団体名	ソフト事業経費	ハード事業経費	地方公共団体計	増額上限確認欄
徳島県徳島市	12,160千円	0千円	12,160千円	－
徳島県鳴門市	1,350千円	0千円	1,350千円	－
徳島県小松島市	1,350千円	0千円	1,350千円	－
徳島県吉野川市	1,350千円	0千円	1,350千円	－
徳島県阿波市	1,350千円	0千円	1,350千円	－
徳島県勝浦町	900千円	0千円	900千円	－
徳島県上勝町	900千円	0千円	900千円	－
徳島県佐那河内村	900千円	0千円	900千円	－
徳島県石井町	900千円	0千円	900千円	－
徳島県神山町	900千円	0千円	900千円	－
徳島県松茂町	900千円	0千円	900千円	－
徳島県北島町	900千円	0千円	900千円	－
徳島県藍住町	900千円	0千円	900千円	－
徳島県板野町	900千円	0千円	900千円	－
徳島県上板町	900千円	0千円	900千円	－

９．先導性に係る取組

先導性	取組内容
（1）自立性 事業を進めていく中で、事業推進主体が自立していくことにより、将来的に本交付金に頼らずに、事業として継続していくことが可能となる事業であること。	自立性のポイント
	国・専門家等から事業運営等に対する助言・サポートを受け、それを反映させる体制（国・地方及び専門家等が協働したPDCAサイクル）の概要※Society5.0型のみ記載
	3～5年以内の自立化の見込み

自主財源の種類		自主財源の内容と実現方法
【A】		
【B】		
【C】		
【D】		

各年度における自主財源見込額		2021年度（1年目）	2022年度（2年目）	2023年度（3年目）	2024年度（4年目）	2025年度（5年目）	2026年度（6年目）	2027年度（7年目）
【A】	計画	18,360千円	16,500千円	14,810千円	14,010千円	13,280千円	13,280千円	
	実績 ※見込みは下線	17,644千円	16,500千円	14,810千円	14,010千円	13,280千円	13,280千円	
【B】	計画	1,000千円	1,500千円	2,000千円	2,500千円	2,500千円	3,000千円	
	実績 ※見込みは下線	197千円	2,006千円	2,000千円	2,500千円	2,500千円	3,000千円	
【C】	計画	1,800千円	2,000千円	2,200千円	2,400千円	4,000千円	4,500千円	
	実績 ※見込みは下線	1,430千円	1,772千円	2,200千円	2,400千円	4,000千円	4,500千円	
【D】	計画	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	1,000千円	
	実績 ※見込みは下線	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	1,000千円	
合計	計画	21,160千円	20,000千円	19,010千円	18,910千円	19,780千円	21,780千円	0千円
	実績	19,271千円	20,278千円	19,010千円	18,910千円	19,780千円	21,780千円	0千円
交付対象事業経費		36,720千円	33,000千円	29,620千円	28,020千円	26,560千円	0千円	
うちソフト事業費		36,720千円	33,000千円	29,620千円	28,020千円	26,560千円	0千円	
うちハード事業費		0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
総事業費								

自主財源見込額の計画が未達成であった場合、その理由	2022年度は、イーストとくしまの専門性を活かした地方自治体からのコンサルティング活動にともなう受託事業収入が増加したこともあり、計画を上回る自主財源を確保することができた。一方で、インバウンドの効果が地方にまで波及するのには、一定の時間を要し、、さらに原油・原材料価格の高騰といった要素が観光を裾野とする飲食・宿泊・交通等の事業者の足かせとなり、経営面で厳しい状況が続き、民間事業者からの会費収入は計画を下回った。
未達成の理由を踏まえた見直し内容及び考え方	（一社）イースト徳島観光推進機構の基本理念や具体的な取組を、より多くの事業者に理解し賛同いただけるよう、面的DXなどの新たな取組みを加えた営業活動をこれまで以上に強化することで、民間事業者の新規会員獲得による会費収入等の増加や受託事業収入の増加に努める。

９．先導性に係る取組

先導性	取組内容
（1）自立性 事業を進めていく中で、事業推進主体が自立していくことにより、将来的に本交付金に頼らずに、事業として継続していくことが可能となる事業であること。	自立性のポイント 徳島東部１５市町村が負担金を支出することによりイーストとくしまの主な運営事業費とするほか、自主的な収益事業等を積極的に展開することで、持続可能な組織運営による徳島東部の観光振興を目指す。 具体的には、地方自治体や民間事業者に対するコンサルティング等の収益事業の展開や、県単位による宿泊税の導入による安定的な財源確保に向けた県等の関係機関との協議を進めていく。また、官民協働の組織として、その運営費用について、一部を民間事業者から拠出する仕組み（協賛金の負担等。現在、50社以上の事業者が参画）を採用しており、参画事業者の増に努めていく。 さらに、旅行免許を取得することによるDMOとしての信頼性の向上と旅行手配料関連収入を安定的に確保する仕組みの構築に向けて、費用対効果を十分に検証していく。
	国・専門家等から事業運営等に対する助言・サポートを受け、それを反映させる体制（国・地方及び専門家等が協働したPDCAサイクル）の概要※Society5.0型のみ記載
	3～5年以内の自立化の見込み　② あり（地方公共団体の一般財源による負担）

自主財源の種類		自主財源の内容と実現方法
【A】	負担金収入	圏域15市町村からの事業運営に係る負担金（自治体においては行革努力による財源捻出）
【B】	収益事業収入	専門性を活かしたコンサルティング活動や事業の受託により事業収入の増加を図る
【C】	会費収入	本事業の実施により受益者となる事業者の入会による会費収入の増加を図る
【D】	旅行手配関連収入	旅行取扱料金として、県外旅行会社や企業、学校からの依頼による旅行サービスの直接手配等の収入

各年度における自主財源見込額		2021年度（1年目）	2022年度（2年目）	2023年度（3年目）	2024年度（4年目）	2025年度（5年目）	2026年度（6年目）	2027年度（7年目）
【A】	計画	18,360千円	16,500千円	14,810千円	14,010千円	13,280千円	13,280千円	
	実績 ※見込みは下線	17,644千円	16,500千円	14,810千円	14,010千円	13,280千円	13,280千円	
【B】	計画	1,000千円	1,500千円	2,000千円	2,500千円	2,500千円	3,000千円	
	実績 ※見込みは下線	197千円	2,006千円	2,036千円	2,500千円	2,500千円	3,000千円	
【C】	計画	1,800千円	2,000千円	2,200千円	2,400千円	4,000千円	4,500千円	
	実績 ※見込みは下線	1,430千円	1,772千円	2,485千円	2,400千円	4,000千円	4,500千円	
【D】	計画	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	1,000千円	
	実績 ※見込みは下線	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	1,000千円	
合計	計画	21,160千円	20,000千円	19,010千円	18,910千円	19,780千円	21,780千円	0千円
	実績	19,271千円	20,278千円	19,331千円	18,910千円	19,780千円	21,780千円	0千円
交付対象事業経費		36,720千円	33,000千円	29,620千円	28,020千円	26,560千円	0千円	
うちソフト事業費		36,720千円	33,000千円	29,620千円	28,020千円	26,560千円	0千円	
うちハード事業費		0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
総事業費								

自主財源見込額の計画が未達成であった場合、その理由	2023年度は、専門性を活かしたコンサルティング活動にともなう受託事業収入、民間事業者からの会費収入ともに計画を上回った。
未達成の理由を踏まえた見直し内容及び考え方	引き続き、自主財源の確保に向けて、面的DXなどの新しい取組みを交えた営業活動を行い、新規会員獲得による会費収入等の増加や受託事業収入の増加に努める。

（2）官民協働 地方公共団体のみの取組ではなく、民間と協働して行う事業であること。また、単に協働するにとどまらず、民間からの資金（融資や出資など）を得て行うことがあれば、より望ましい。	官民協働のポイント	
	行政の役割	
	民間事業者の役割	

（2）官民協働 地方公共団体のみの取組ではなく、民間と協働して行う事業であること。また、単に協働するにとどまらず、民間からの資金（融資や出資など）を得て行うことがあれば、より望ましい。	官民協働のポイント	① イーストとくしま観光推進機構は、観光庁・四国運輸局・徳島県・徳島県観光協会・広域DMO（四国ツーリズム創造機構、せとうちDMO、関西観光本部）と域内15市町村とのハブ機能を担う。 ※広域周遊を行う旅行者に対し行われている、JNTO、広域DMOのプロモーションに、徳島県東部圏域の情報を入れ込み来訪意欲を喚起する。 ※広域周遊を商品化する旅行事業者に対し、広域DMO、徳島県が開催する商談会にて、徳島県東部圏域のコンテンツを入れ込んだ商品造成を促進する。 ② イーストとくしま観光推進機構が、域内の様々な事業者との連携による国補助金・支援に関する窓口機能を担う。 ③ 域内の大学や事業者連携による観光人材（ガイド・コーディネーター）の育成を行う。 ※徳島大学、ツーリズム徳島と連携し観光人材の育成を行う。 ④イーストとくしま誘客ラボ（協議会）の機能向上を促進する。 ※プロダクト別のワーキンググループにより、域内事業者のビジネス機会の創出に繋がる提言をまとめ、次年度イーストとくしま観光推進機構の事業計画等に反映させる。（主体は協議会でイーストとくしまDMOはサポートを担う。） ⑤イーストとくしまが進める面的DX化に、域内15市町村や地域の観光関連事業者が積極的に参画し、シームレスな手ぶら観光による旅行者の満足度の向上を促進する。 観光アプリから得られる旅行者のデータをイーストとくしまが一元管理し、分析・可視化したうえで、有益な情報を地域に提供し、行政では効果的な観光施策の立案・実行、民間事業者では戦略的なデータマーケティングを行う。 ⑥観光をとおしたまちづくりを推進するため、イーストとくしまが事務局を担う「まちづくりWG」に域内の市町村、民間事業者が参画し、地域一体となったまちづくりを推進する。 社会情勢の変化や観光ニーズの多様化に対応するため、従来型の行政主導ではなく、民間事業者とも協力しながら、戦略的かつ効果的に観光振興を図ることが必要であるため、徳島東部地域の15市町村と地元金融機関や観光・宿泊・運輸・報道機関・IT関係等、幅広い民間事業者の参画を得て設立した、（一社）イーストとくしま観光推進機構を中心に、地域が一体となって観光振興を進めようとしている。 設立準備段階は、参画民間事業者は、20社程度であったが、当法人の活動が地域に浸透してきたこと等により、50社以上に拡大され、民間の意見やニーズを十分に吸い上げたDMO法人とするなど、官民連携の枠組みを深化させたものとしている。また、民間事業者が資金を拠出し、職員を派遣するなど、一定の責任を有し、安定的な運営を担保する仕組みを構築している。 また、設立後は各種団体（自治体・民事業者・NPO法人等を想定）が参加するDMO協議会を設置し、それぞれがテーマ別の部会に参加し、個々の取組について連携しながら進めることを予定しており、継続的に官民が関わり合う仕組み・連携体制を十分に吟味したものとなっている。
	行政の役割	景観、道路、空港、港湾等の社会資本整備や多言語看板の設置等、ハード面での受入環境の整備や条例制定等、法制面の整備を担い、イーストとくしま観光推進機構の取組との効果的な連携により、訪日外国人旅行者が安心・快適に地域の魅力を満喫できる観光地の整備を進めていく。 ・DMO設立及び運営の支援（DMO設立準備委員会や協議会への参画、関係行政機関や民間事業者等との調整、運営費の負担等） ・景観や観光案内設備の多言語化、観光資源の磨きあげや新たな観光資源の掘り起こし等 ・DMOと連携して、来訪客の誘致促進・プロモーション等、各種取組を進める。 ・面的DXの推進により得られた旅行者の移動、宿泊、購買などの客観的なデータに基づく、効果的な観光施策の立案・実施を行う。
	民間事業者の役割	・民間事業者は、本事業の取組が自らの事業に裨益することに鑑み、会費や協賛金等の拠出により、応分の負担を行う。 ・飲食、宿泊、交通、アクティビティー、農林水産等の観光地域づくりに関連する事業者が連携し、分野横断的にニーズや課題を分析・解決することで、魅力的な観光地域を構築していくため積極的に事業運営に関わる。 具体的には、定期的に開催する協議会や、分野ごとに設置するワーキンググループに参画し、それぞれの分野で有する顧客ニーズや市場動向、課題などを出し合うほか、他分野の事業者が抱える課題の解決に資するシーズを有する場合は積極的に提供する。イーストとくしま観光推進機構は提供されたニーズやシーズを整理し、必要に応じて域外の事業者との連携、専門家の派遣、国や自治体の事業を活用しながら、地域全体で事業を推進していく。 ・面的DXの推進にあたって、シームレスな手ぶら観光を行える体制に努めるほか、旅行者の客観的なデータに基づく戦略的なデータマーケティングを推進する。

	金融機関・その他連携者の役割	
	PFIの活用の有無	
(3)地域間連携 単独の地方公共団体のみの取組ではなく、関係する地方公共団体と連携し、広域的なメリットを発揮する事業であること。	地域間連携のポイント	
	地方公共団体名①及び役割	
	地方公共団体名②及び役割	
	地方公共団体名③及び役割	
	地方公共団体名④及び役割	
	定住自立圏又は連携中枢都市圏に基づく地域間連携の取組	
	該当の有無	申請団体のうち、圏域を形成する団体名
	「定住自立圏共生ビジョン」又は「連携中枢都市圏ビジョン」と当該事業との整合性	

	金融機関・その他連携者の役割	・広域連携DMO： イーストとくしま観光推進機構が実施した観光地整備の成果を、広域DMOが実施する戦略策定やプロモーション等のマーケティングや、広域的な連結性を有するコンテンツ開発等の着地整備の働きかけを実施。 ・日本政府観光局：イーストとくしま観光推進機構が着地整備の取組を行ったコンテンツの写真・動画等対外的な発信のための素材やツールを、日本政府観光局のインバウンドの主要市場に設置された22の海外事務所が持つデジタルマーケティング等のツールを最大限活用すると同時に、多様なメディアへの情報発信や訪日プロモーションを効果的・効率的に実施。 ・地域住民：イーストとくしま観光推進機構観光は、地域住民が、地域づくりに積極的に参加していくことで、地域を深く理解し、地域に対する誇りと愛着を強く持ち、また、地域を訪れる来訪者を気持ち良く迎え入れるこころと気配りを醸成し、来訪者と交流を図ることで、観光と交流の意義に対する認識を醸成する。 ・金融機関は、観光客等の受入れに向けた施設改修や設備投資、着地型旅行商品の開発や地域産品開発等への融資や経営・顧客獲得に向けたコンサルティング等を行う。また、徳島市は徳島市版総合戦略を推進するための包括連携協定を地元金融機関と締結しており、これに基づき、観光分野の振興につながる事業・投資に対する融資や経営の支援等、本事業への活用を図る。 ・各地域の観光協会は、観光客のニーズに沿った観光情報の提供や受入環境の充実に努める。 ・地元経済コンサルタント事業者の協力を得て、専門的な知見から助言を得たり、データの提供を受けたりしながら、効果的な事業推進を図る。 ・地域住民やボランティアは観光振興の行政との連携者として、地域を訪れる観光客を気持ちよく迎え入れる心と気配りを持ち、観光客と交流を図る。
	PFIの活用の有無	無
(3)地域間連携 単独の地方公共団体のみの取組ではなく、関係する地方公共団体と連携し、広域的なメリットを発揮する事業であること。	地域間連携のポイント	イーストとくしまが、官民一体の組織体として、徳島東部圏域15市町村の広域での観光施策の充実を図る。それぞれの地域の特性や強みを活かした観光客数増加に向けた取組を一体となって推進する。 また、徳島県や徳島県西部地域、南部地域のDMOと連携し、相互に人の流れを創り出すなど相乗効果を生み出し、徳島県全体の観光振興・活性化に資することを目指す。 今後、関西では、万博、ワールドマスターズゲームズ2027、IR開業など国民を挙げてのイベント等が予定されている。イーストとくしまも広域連携DMOである関西観光本部、地域連携DMOである大阪観光局、兵庫や和歌山などのDMO、関西エアポート、南海電鉄等の関西の事業者との連携を強化し、徳島東部と関西を結ぶストーリ性のある周遊コンテンツの造成や関西方面での集中的なプロモーションによる認知度向上を図る。
	地方公共団体名①及び役割	【徳島市】(一社)イーストとくしま観光推進機構を形成し、圏域市町村が有する自然や歴史・文化など、様々な観光資源を発掘して認知度や魅力向上を図ることで、圏域での観光エリアを形成し観光振興に一体となって取り組む。また、自治体の代表市として、15市町村の連絡調整などを行う。
	地方公共団体名②及び役割	【徳島東部地域14市町村】各市町村は、これまでにない観点で再度地域を見渡して地域の観光資源を発掘し、イーストとくしま観光推進機構との役割分担を明確にしつつ、連携して磨き上げを行う。また、住民に最も近い存在として、「住んでよし」の地域づくりを推進するため、住民ニーズを集約し、必要な施策を展開する。
	地方公共団体名③及び役割	【徳島県】徳島県は、東部・西部・南部の各地域が有する異なる特性を活かしつつ、広域で、効率的かつ効果的な観光地域づくりを推進することを目的に、全市町村を3つの地域連携DMOでカバーする3DMO体制への支援を行ってきた。引き続き3DMOと連携しながら、徳島県全体の観光行政のかじ取りを担う。
	地方公共団体名④及び役割	【大阪府、兵庫県、和歌山県や各県市町村】大阪観光局、兵庫や和歌山などのDMOや関西エアポート、南海電鉄などの民間事業者との連携強化事業を行うにあたって、所在の県・市町村を巻き込んで、万博などの効果を徳島東部、徳島県さらに四国に拡大していく役割を担う。
	定住自立圏又は連携中枢都市圏に基づく地域間連携の取組	
	該当の有無	有
	申請団体のうち、圏域を形成する団体名	徳島市、小松島市、勝浦町、上勝町、佐那河内村、石井町、神山町、松茂町、北島町、藍住町、板野町及び上板町
	「定住自立圏共生ビジョン」又は「連携中枢都市圏ビジョン」と当該事業との整合性	第3次徳島東部地域定住自立圏共生ビジョンにおいて、「圏域市町村が有する歴史・文化などの観光資源発掘による魅力向上」や「宿泊、地元食材を生かしたグルメなどの体験観光による長期滞在型観光の実施」などに取り組むとともに、今後の方向性として、「情報発信の強化や観光ガイドの人材育成など、徳島東部地域DMOを中心とした広域的な観光地域づくりの推進」や「地域の価値を理解し、地元に誇りを持つ住民を増やす取組を進めることで、観光消費額の増加や観光客満足度並びに住民満足度の向上に努める」ことなどが示されており、当該事業で取り組む「ニューツーリズム推進事業」及び「シビックプライド醸成・創業人材育成事業」の内容と整合性がある。

(4)政策・施策間連携		
単一の政策・施策目的を持つ単純な事業ではなく、複数の政策・施策を相互に関連づけて、全体として、地方創生に対して効果を発揮する事業であること又は利用者から見て意味あるワンストップ型の窓口等の整備を行う事業であること。	政策・施策間連携のポイント	
	連携政策・施策①	
	連携政策・施策②	
	連携政策・施策③	
	ワンストップ化の内容	
	他省庁補助金等の関連する他政策・施策との連携	
	補助金等の名称	
	省庁名 / 予算額 / 事業実施年度	
	連携のポイント	

(4)政策・施策間連携		
単一の政策・施策目的を持つ単純な事業ではなく、複数の政策・施策を相互に関連づけて、全体として、地方創生に対して効果を発揮する事業であること又は利用者から見て意味あるワンストップ型の窓口等の整備を行う事業であること。	政策・施策間連携のポイント	急激な少子高齢化の進行等で人口減少が加速していることにより、様々な分野で都市間競争が進む中、(一社)イーストとくしま観光推進機構を中心に、徳島東部地域の15市町村の自治体にまたがる広域な範囲で来訪客の増加に向けた取組を戦略的・総合的に推進するとともに、シティプロモーション・地域のにぎわいづくり・地域産業の振興等の様々な施策と連携することで、「都市のブランディング」、「交流人口の増加」、「地域経済の活性化」等多様な効果を発揮し、圏域の活性化に繋げることで地方都市の衰退に歯止めをかけようとするものである。
	連携政策・施策①	【都市のブランディング】 (一社)イーストとくしま観光推進機構を中心に、圏域で一体となって、国内外に向けて、圏域の魅力や豊富な地域資源等のPR・営業活動に戦略的に取り組むことで、徳島東部地域のブランド化を進め、認知度や魅力を高めるとともに、地元住民の愛着度向上を図るなど、都市のブランド化を推進する。
	連携政策・施策②	【交流人口の増加】 徳島県や県内の他のDMO等と連携して、徳島東部の自然・伝統文化・食等の強みを生かした誘客やインバウンド対応を進めるなど新たな来訪客の取り込み施策を進め、国内外から多様な人々が訪れる都市となり、交流人口の増加を図る。
	連携政策・施策③	【地域経済の活性化】 観光振興は、「旅行」「宿泊」「運輸」「飲食」「物産」等、多くの分野にプラスの効果をもたらすものである。徳島東部地域においても観光振興に取り組むとともに、徳島東部圏域の地域産品・物産の開発支援や地域の素材を生かした「食」メニューの開発、物販の販路拡大を支援・実施し、地域産業の振興に資することで地域経済の活性化や雇用の創出等を図る。
	ワンストップ化の内容	戦略的な観光地づくりの舵取り役として、観光事業に精通した組織であるDMOを中心に、観光振興に徳島東部圏域一体となって取り組む体制を整備することで、多種多様な観光情報の収集と分析、観光地経営の視点による観光商品開発などを一括して行うことで、多くの人々がワンストップで圏域の魅力や観光情報を入手し、観光体験ができる環境をつくりだす。 また、徳島東部地域が四国の陸海空の玄関口となる役割を果たせるよう圏域の観光拠点整備を推進することで、徳島県をはじめ四国の食・祭り・文化等を紹介する観光案内のワンストップ化を目指す。
	他省庁補助金等の関連する他政策・施策との連携	
	補助金等の名称	
	省庁名 / 予算額 / 事業実施年度	
	連携のポイント	

(5)デジタル社会の形成への寄与 デジタル技術の持続的な事業への活用やその普及等(デジタル技術の事業への活用を進めるための普及啓発及びその活用を担う人材の育成をいう。)を推進するための取組を行う事業であること。	デジタル社会の形成に寄与することが期待される取組の具体的内容	
	取組1	
	取組2	
	取組3	
	デジタル社会の形成に寄与することが期待される理由(以下①～④より選択の上、その理由(上記取組との関係性等)を具体的に記載) (① デジタルの力を活用した地方の社会課題解決・魅力向上、② デジタル人材の育成・確保、 ③ デジタル基盤整備、④ 誰一人取り残されないための取組)	
		選択 / 理由(上記取組との関係性等)を具体的に記載
	取組1	
	取組2	
	取組3	
	各取組における目標	
	取組1	
	取組2	
	取組3	

(6)事業推進主体の形成 事業を実効的・継続的に推進する主体が形成されること。特に様々な利害関係者が含まれつつ、リーダーシップを持つ人材がその力を発揮できる体制を有した推進主体であることが望ましい。	事業推進主体の名称		設立時期	年 月
	構成メンバー			
	事業推進主体の事業遂行能力			
	経営責任の明確化			
(7)地域社会を担う人材の育成・確保 事業を推進していく過程において、地方創生に役立つ人材の育成や確保を目指すものであること。	地域独自の人材ニーズ			
	人材の確保・育成方法			

(5)デジタル社会の形成への寄与 デジタル技術の持続的な事業への活用やその普及等(デジタル技術の事業への活用を進めるための普及啓発及びその活用を担う人材の育成をいう。)を推進するための取組を行う事業であること。	デジタル社会の形成に寄与することが期待される取組の具体的内容	
	取組1	地域一体による面的DXを推進し、シームレスな手ぶら観光ができるサービス提供や観光アプリから得られる旅行者の様々なデータをイーストとくしまが一括管理したうえで分析・可視化し地域で共有し、客観的なデータに基づくデータドリブンによる観光地経営を促進する。
	取組2	徳島東部圏域の15市町村のほか、面的DXに参画する域内の観光関連事業者を増やすよう普及啓発事業に取組む。
	取組3	地域で観光地域づくりを牽引する観光デジタル人材を育成する講座等を開催する。
	デジタル社会の形成に寄与することが期待される理由(以下①～④より選択の上、その理由(上記取組との関係性等)を具体的に記載) (① デジタルの力を活用した地方の社会課題解決・魅力向上、② デジタル人材の育成・確保、 ③ デジタル基盤整備、④ 誰一人取り残されないための取組)	
		選択 / 理由(上記取組との関係性等)を具体的に記載
	取組1	① シームレスな手ぶら観光や旅なかでのタイムリーな情報発信を行うことで、旅行者の利便性の向上、周遊促進、再来訪の促進を図ることができる。また、客観的なデータに基づくデータドリブンな観光地経営を促進することで、効果的かつ機動的な誘客促進に寄与する。
	取組2	① 地域のより多くの事業者が参画することで、データドリブンな観光地経営を効率的・効果的に行うことができ、持続性の高い観光地の創出に寄与する。
	取組3	② 地域で観光を牽引するDXリテラシーを備えたデジタル人材が育成されることで、収益性と生産性の高い観光地創出に寄与する。
	各取組における目標	
	取組1	徳島東部圏域の来訪者リピーター率2022年度49.2%→2025年度54% 徳島東部圏域の観光客の平均周遊箇所数2019年度1.29か所→2025年度1.55か所
	取組2	徳島東部エリアの面的DX参画事業者数 2023年度に100社程度参画予定→以降毎年1割増
	取組3	観光DXに関する人材育成講座を年3回開催 講座の参加人数1回あたり50人、延べ150人

(6)事業推進主体の形成 事業を実効的・継続的に推進する主体が形成されること。特に様々な利害関係者が含まれつつ、リーダーシップを持つ人材がその力を発揮できる体制を有した推進主体であることが望ましい。	事業推進主体の名称	(一社)イーストとくしま観光推進機構	設立時期	2018 年 3 月
	構成メンバー	徳島市・鳴門市・小松島市・阿波市・吉野川市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・石井町・神山町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町と民間事業者50社以上(観光関係企業のほか、金融・運輸・報道・IT等)		
	事業推進主体の事業遂行能力	民間事業者が、協賛金を拠出することで経営の安定化を図り、専門的技能を持った職員を派遣する等、官民が深く連携する体制が構築されており、事業遂行能力を有する。 DMO社員と賛助会員企業、市町村担当者が集まり事業を検討するワークショップを定期的に開催するほか、普段から情報共有を図るなどにより、広域で観光地域づくりに取り組む体制を構築するなど実効力を有している。		
	経営責任の明確化	観光や経営などに豊富な知識と経験を持つ者がDMO法人の責任者となり、自立的な事業運営を行うこととしており、事業の推進にあたっては、各自治体や民間事業者が負担金を拠出するなど、それぞれが資金的・組織的な責任をもって取り組む体制を構築している。		
(7)地域社会を担う人材の育成・確保 事業を推進していく過程において、地方創生に役立つ人材の育成や確保を目指すものであること。	地域独自の人材ニーズ	戦略的な魅力発信に向けたPR戦略の策定、プロモーションの実施等における専門的な知識を有する人材(魅力発信プロデューサー)、観光資源等に精通し継続的に観光振興に取り組み将来を担う専門人材(推進スタッフ)等が求められている。		
	人材の確保・育成方法	(一社)イーストとくしま観光推進機構がガイド(ボランティア含む)の育成やネットワーク化に取り組むとともに、地域で活動する団体(NPO法人等)や民間事業者等との協働等を通じて、継続的に事業に取り組める専門人材の育成・確保を図る。また、民間事業者等の自主事業等を通じて行政の補助に頼らず独立して事業を推進できる人材・組織の育成を図る。		

10. 交付対象事業の効果検証及び事業見直しの方法、時期及び体制

地方公共団体名	事業における役割	外部組織による検証						議会による検証			
		検証時期			検証方法	外部組織の参画者	検証結果の公表方法	検証時期			検証方法
徳島県徳島市		毎年度		月		(一社)イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会:学識経験者、経済団体、NPO法人、等(予定) 徳島市総合計画・総合戦略推進委員会:徳島大学、四国大学、徳島文理大学、徳島経済研究所、民間企業代表者、公認会計士(予定)		毎年度		月	
徳島県鳴門市		毎年度		月				毎年度		月	
徳島県小松島市		毎年度		月				毎年度		月	
徳島県吉野川市		毎年度		月		(一社)イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会:学識経験者、経済団体、NPO法人、等(予定) 吉野川市地方創生推進協議会:徳島県、吉野川商工会議所、吉野川市商工会、麻植郡農協協同組合、徳島北部森林組合、(財)阿波和紙伝統産業会館、吉野川市国際交流協会、吉野川公共職業安定所、県立川島高等学校、阿波銀行、自治会連合会、NPO法人、社会福祉協議会、吉野川青年会議所などで組織		毎年度		月	

10. 交付対象事業の効果検証及び事業見直しの方法、時期及び体制

地方公共団体名	事業における役割	外部組織による検証						議会による検証			
		検証時期			検証方法	外部組織の参画者	検証結果の公表方法	検証時期			検証方法
徳島県徳島市	(一社)イーストとくしま観光推進機構と連携した観光振興 ・「新しい旅行スタイル」に対応したニューツーリズムの推進 ・シビックプライド醸成・観光人材育成・観光地域まちづくりの推進 ・面的DXの推進 ・大阪・関西万博関連事業	毎年度	8	月	(一社)イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会において、効果検証等を行う。 なお、徳島市においては「徳島市総合計画・総合戦略推進委員会」での検証を行う	(一社)イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会:学識経験者、経済団体、NPO法人、等(予定) 徳島市総合計画・総合戦略推進委員会:徳島大学、四国大学、徳島文理大学、徳島経済研究所、民間企業代表者、社会保険労務士(予定)	連携15市町村の各ホームページで公表	毎年度	9	月	徳島市議会に報告する
徳島県鳴門市	(一社)イーストとくしま観光推進機構と連携した観光振興 ・「新しい旅行スタイル」に対応したニューツーリズムの推進 ・シビックプライド醸成・観光人材育成・観光地域まちづくりの推進 ・面的DXの推進 ・大阪・関西万博関連事業	毎年度	6	月	(一社)イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会において、効果検証等を行う。 なお、鳴門市においては、「鳴門市総合戦略評価委員会」での検証を行う。	(一社)イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会:学識経験者、経済団体、NPO法人、等(予定) 総合戦略評価委員会:徳島県、鳴門商工会議所、鳴門市農業委員会、鳴門市水産振興協議会、鳴門教育大学、阿波銀行、徳島新聞、ハローワーク	連携15市町村の各ホームページで公表	毎年度	9	月	鳴門市議会に報告する
徳島県小松島市	(一社)イーストとくしま観光推進機構と連携した観光振興 ・「新しい旅行スタイル」に対応したニューツーリズムの推進 ・シビックプライド醸成・観光人材育成・観光地域まちづくりの推進 ・面的DXの推進 ・大阪・関西万博関連事業	毎年度	6	月	(一社)イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会において、効果検証等を行う。 なお、小松島市は、小松島市まち・ひと・しごと創生有識者会議において検証を行う。	(一社)イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会:学識経験者、経済団体、NPO法人、等(予定) 小松島市まち・ひと・しごと創生有識者会議:商工会議所、農協、漁協、NPO法人、徳島文理大学、小松島西高校、阿波銀行、ハローワーク、徳島ファミリーサポートセンター、ニホンフラッシュ、徳島赤十字病院、東阿波CATV、社協、教育委員会、PTA連合会、等(令和2年度)	連携15市町村の各ホームページで公表	毎年度	9	月	小松島市議会に報告
徳島県吉野川市	(一社)イーストとくしま観光推進機構と連携した観光振興 ・「新しい旅行スタイル」に対応したニューツーリズムの推進 ・シビックプライド醸成・観光人材育成・観光地域まちづくりの推進 ・面的DXの推進 ・大阪・関西万博関連事業	毎年度	6	月	(一社)イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会において、効果検証等を行う。 なお、吉野川市においては吉野川市地方創生推進協議会での検証を行う。	(一社)イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会:学識経験者、経済団体、NPO法人、等(予定) 吉野川市地方創生推進協議会:徳島県、吉野川商工会議所、吉野川市商工会、徳島県農業協同組合、徳島北部森林組合、(財)阿波和紙伝統産業会館、吉野川市国際交流協会、吉野川公共職業安定所、県立川島高等学校、阿波銀行、自治会連合会、NPO法人、社会福祉協議会、吉野川青年会議所、子ども子育て会議などで組織	連携15市町村の各ホームページで公表	毎年度	9	月	吉野川市議会に報告する

徳島県阿波市		毎年度		月		(一社)イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会:学識経験者、経済団体、NPO法人、等(予定) 阿波市まち・ひと・しごと創生本部有識者会議:県議会、市議会、大学教授、市中銀行、教育委員会委員、商工会、観光協会、社会福祉協議会、農業関係者、PTA連合会、企業、新聞社、NPO法人、野菜ソムリエ組織などの代表者で組織		毎年度		月	「阿波市まち・ひと・しごと創生本部有識者会議」において、委員として参加している議長及び各常任委員長に報告する。
徳島県勝浦町		毎年度		月				毎年度		月	
徳島県上勝町		毎年度		月				毎年度		月	
徳島県佐那河内村		毎年度		月				毎年度		月	
徳島県石井町		毎年度		月				毎年度		月	

徳島県阿波市	(一社)イーストとくしま観光推進機構と連携した観光振興 ・「新しい旅行スタイル」に対応したニューツーリズムの推進 ・シビックプライド醸成・観光人材育成・観光地域まちづくりの推進 ・面的DXの推進 ・大阪・関西万博関連事業	毎年度	6	月	(一社)イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会において、効果検証等を行う。 なお、阿波市においては阿波市まち・ひと・しごと創生本部有識者会議での検証を行う。	(一社)イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会:学識経験者、経済団体、NPO法人、等(予定) 阿波市まち・ひと・しごと創生本部有識者会議:大学教授、市中銀行、社会福祉協議会、婦人団体連合会、PTA連合会、企業、観光協会、教育委員会委員、市議会、NPO法人、住民などの代表者で組織	連携15市町村の各ホームページで公表	毎年度	6	月	「阿波市まち・ひと・しごと創生本部有識者会議」において、委員として参加している議長及び総務常任委員長に報告する。
徳島県勝浦町	(一社)イーストとくしま観光推進機構と連携した観光振興 ・「新しい旅行スタイル」に対応したニューツーリズムの推進 ・シビックプライド醸成・観光人材育成・観光地域まちづくりの推進 ・面的DXの推進 ・大阪・関西万博関連事業	毎年度	6	月	(一社)イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会において、効果検証等を行う。	学識経験者、経済団体、NPO法人、等(予定)	連携15市町村の各ホームページで公表	毎年度	6	月	勝浦町議会に報告する
徳島県上勝町	(一社)イーストとくしま観光推進機構と連携した観光振興 ・「新しい旅行スタイル」に対応したニューツーリズムの推進 ・シビックプライド醸成・観光人材育成・観光地域まちづくりの推進 ・面的DXの推進 ・大阪・関西万博関連事業	毎年度	6	月	(一社)イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会において、効果検証等を行う。	学識経験者、経済団体、NPO法人、等(予定)	連携15市町村の各ホームページで公表	毎年度	6	月	上勝町議会に報告する
徳島県佐那河内村	(一社)イーストとくしま観光推進機構と連携した観光振興 ・「新しい旅行スタイル」に対応したニューツーリズムの推進 ・シビックプライド醸成・観光人材育成・観光地域まちづくりの推進 ・面的DXの推進 ・大阪・関西万博関連事業	毎年度	6	月	(一社)イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会において、効果検証等を行う。	学識経験者、経済団体、NPO法人、等(予定)	連携15市町村の各ホームページで公表	毎年度	9	月	佐那河内村議会に報告する
徳島県石井町	(一社)イーストとくしま観光推進機構と連携した観光振興 ・「新しい旅行スタイル」に対応したニューツーリズムの推進 ・シビックプライド醸成・観光人材育成・観光地域まちづくりの推進 ・面的DXの推進 ・大阪・関西万博関連事業	毎年度	6	月	(一社)イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会において、効果検証等を行う。	学識経験者、経済団体、NPO法人、等(予定)	連携15市町村の各ホームページで公表	毎年度	9	月	石井町議会に報告する

徳島県神山町		毎年度		月				毎年度		月	
徳島県松茂町		毎年度		月				毎年度		月	
徳島県北島町		毎年度		月				毎年度		月	
徳島県藍住町		毎年度		月				毎年度		月	
徳島県板野町		毎年度		月				毎年度		月	

徳島県神山町	(一社)イーストとくしま観光推進機構と連携した観光振興 ・「新しい旅行スタイル」に対応したニューツーリズムの推進 ・シビックプライド醸成・観光人材育成・観光地域まちづくりの推進 ・面的DXの推進 ・大阪・関西万博関連事業	毎年度	6	月	(一社)イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会において、効果検証等を行う。	学識経験者、経済団体、NPO法人、等(予定)	連携15市町村の各ホームページで公表	毎年度	6	月	神山町議会に報告する
徳島県松茂町	(一社)イーストとくしま観光推進機構と連携した観光振興 ・「新しい旅行スタイル」に対応したニューツーリズムの推進 ・シビックプライド醸成・観光人材育成・観光地域まちづくりの推進 ・面的DXの推進 ・大阪・関西万博関連事業	毎年度	6	月	(一社)イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会において、効果検証等を行う。	学識経験者、経済団体、NPO法人、等(予定)	連携15市町村の各ホームページで公表	毎年度	9	月	「松茂町地方版総合戦略審議会」の委員に議会から3名選出されており、その場で報告している。
徳島県北島町	(一社)イーストとくしま観光推進機構と連携した観光振興 ・「新しい旅行スタイル」に対応したニューツーリズムの推進 ・シビックプライド醸成・観光人材育成・観光地域まちづくりの推進 ・面的DXの推進 ・大阪・関西万博関連事業	毎年度	6	月	(一社)イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会において、効果検証等を行う。	学識経験者、経済団体、NPO法人、等(予定)	連携15市町村の各ホームページで公表	毎年度	9	月	北島町議会に報告する
徳島県藍住町	(一社)イーストとくしま観光推進機構と連携した観光振興 ・「新しい旅行スタイル」に対応したニューツーリズムの推進 ・シビックプライド醸成・観光人材育成・観光地域まちづくりの推進 ・面的DXの推進 ・大阪・関西万博関連事業	毎年度	6	月	(一社)イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会において、効果検証等を行う。	学識経験者、経済団体、NPO法人、等(予定)	連携15市町村の各ホームページで公表	毎年度	9	月	藍住町議会に報告する
徳島県板野町	(一社)イーストとくしま観光推進機構と連携した観光振興 ・「新しい旅行スタイル」に対応したニューツーリズムの推進 ・シビックプライド醸成・観光人材育成・観光地域まちづくりの推進 ・面的DXの推進 ・大阪・関西万博関連事業	毎年度	6	月	(一社)イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会において、効果検証等を行う。	学識経験者、経済団体、NPO法人、等(予定)	連携15市町村の各ホームページで公表	毎年度	9	月	板野町議会に報告する

徳島県上板町		毎年度		月				毎年度		月	

徳島県上板町	（一社）イーストとくしま観光推進機構と連携した観光振興 ・「新しい旅行スタイル」に対応したニューツーリズムの推進 ・シビックプライド醸成・観光人材育成・観光地域まちづくりの推進 ・面的DXの推進 ・大阪・関西万博関連事業	毎年度	6	月	（一社）イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会において、効果検証等を行う。	学識経験者、経済団体、NPO法人、等（予定）	連携15市町村の各ホームページで公表	毎年度	9	月	全員協議会において報告する